

様式7

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	音楽 I	単位数	2単位
		学年等	1年生全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>高校生の音楽1・音楽通論・The Basics of Music(単元によってワークシートも配付)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</p>	<p>主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとしている。</p>
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	<p>[歌唱] 斉唱、独唱 [器楽] 三線 [鑑賞] 西洋音楽史</p>	<p>実技テスト ワークシート記述</p>	<p>実技テスト ワークシート記述</p>	<p>行動観察 ワークシート記述</p>
		50点	50点	50点
2 学期	<p>[歌唱] 斉唱、独唱 [器楽] ヴァイオリン [創作] 作曲・編曲</p>	<p>実技テスト 作品提出 ワークシート記述</p>	<p>実技テスト 作品提出 ワークシート記述</p>	<p>行動観察 作品提出 ワークシート記述</p>
		50点	50点	50点
3 学期	<p>[歌唱] 合唱 [器楽] アルトリコーダー・ハンドベル</p>	<p>発表 実技テスト ワークシート記述</p>	<p>発表 実技テスト ワークシート記述</p>	<p>行動観察 ワークシート記述</p>
		50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	〔歌唱〕 校歌(斉唱)、「Caro mio ben」「野ばら」 ・バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を理解する。	24
	5	・曲のイメージをもち、曲想と歌詞との関わりや旋律の特徴、言葉の抑揚を理解して、表現を創意工夫して歌う。 ・ドイツ語の発音を学び、強弱によるリズムと旋律との関わりを理解するとともに、曲にふさわしい表現で歌う。	
	6	・イタリア語の発音を学び、強弱によるリズムと旋律との関わりを理解するとともに、曲にふさわしい表現で歌う。 ○-----	
	7	〔器楽〕 三線(弾き歌い)「ていんさぐぬ花」 ・楽器の構造、チューニング法、バチの持ち方、奏法の技能、工工四の読み方を身につけ、思いや意図をもって演奏する。 〔鑑賞〕 西洋音楽史 ・中世～近現代の音楽の特徴と背景を読み取り、よさを味わう。 ○-----	
2 学 期	8	〔歌唱〕 「歌の翼に」、「Sing」 ・バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を理解し、曲のイメージをもち、曲想と歌詞との関わりや旋律の特徴、言葉の抑揚を理解して、表現を創意工夫して歌う。	28
	9	○-----	
	10	〔器楽〕 弦楽器「きらきら星」 ・さまざまな奏法を身につけ、複雑なリズムと旋律とのかかわりを理解するとともに、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。	
	11	〔創作〕 ガレージバンドを使用した作曲・オリジナル校歌の編曲(iPad)	
12	・反復、変化、対照などの手法を用い、音素材を活用して自分のイメージに合わせて作曲・編曲をする。 ○-----		
3 学 期	1	〔歌唱〕 合唱「信じる」 ・歌詞の心情を読み取り、曲想と歌詞との関わりや旋律の特徴、言葉の抑揚を理解して、表現を創意工夫して歌う。	18
	2	〔器楽〕 アルトリコーダー ・基礎的な奏法を身につけ、レガート奏法・スタッカート奏法を使い分けて演奏する。	
	3	〔器楽〕 ハンドベル合奏 ・旋律の美しさを味わいながらアンサンブルの楽しさを感じ、曲想にあった表現を工夫する。 ○-----	

5 その他

- 1日に2時間連続で授業があります。
- 定期考査は実施しませんが、単元ごとに実技テストや発表を行います。
- 進学で必要な人は必ず担当教員に申し出て下さい。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術 I	単位数	2単位
		学年等	1年生全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関する資質・能力と次のように育成することを目指す。</p> <p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法や創造工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p> <p>(3)主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を深め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：新・高校生の美術1</p> <p>副教材：混色事典</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法や創造工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を深め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	デザイン グラデーションを用いた作品制作	作品	作品 ワークシート記述	授業態度 ワークシート記述
		100点	100点	100点
2	絵画 風景画の制作 デザイン(工芸) 木彫銅敷きの制作	作品	作品 ワークシート記述	授業態度 ワークシート記述
		100点	100点	100点
3	彫刻 粘土を用いた立体作品の制作	作品	作品 ワークシート記述	授業態度 ワークシート記述
		100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	オリエンテーション ① 美術の授業について(年間計画、身につけたい力、注意事項など) ② 鉛筆の硬さの違い・特性 ③ 鉛筆の削り方	24
	5	④ 鉛筆の特性を生かしてクロッキー帳に手のデッサンを行う	
		デザイン	
	6	グラデーションを用いた作品制作 ① アクリル絵の具の特性・使い方 ② グラデーションについての知識(清色・濁色・有彩色・無彩色・補色など)	
	7	③ グラデーションを使った作品の構想(形、配色の計画) ④ アクリル絵の具を用いたグラデーション作品の制作 ⑤ 相互鑑賞	
2	8	絵画	28
	9	風景画の制作	
	10	① 学校の中で思い入れのある場所をタブレットで撮影する ② アクリル絵の具やキャンバスの特性、さまざまな技法について ③ 遠近法(透視図法、空気遠近法) ④ アクリル絵の具を用いた風景画の制作 ⑤ 相互鑑賞	
	11	デザイン(工芸) 木彫鍋敷きの制作	
	12	① 彫刻刀の使い方、さまざまな技法(薬研彫、菱合い彫り、片切り彫り、かまぼこ彫りなど) ② 彫刻刀を用いた鍋敷きの構想(デザイン、使用する技法の計画) ③ 彫刻刀を用いた鍋敷きの制作 ④ 相互鑑賞	
3	1	彫刻 粘土を用いた立体作品の制作	18
	2	① 粘土や道具の特性・使い方	
	3	② テーマをもとに、粘土を用いた立体作品の構想 ③ 粘土を用いた立体作品の制作 ④ 相互鑑賞	

5 その他

- 定期テストはありませんが、作品提出が大きな評価対象です。
- 授業ごとに記入する振り返りシートや、題材ごとに記入する鑑賞カードが重要です。
- 将来、美術系の進路を考えている人は1年生の間にはならず相談にきてください。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	書道 I	単位数	2単位
		学年等	1年生全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。また、書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。また、主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
使用教科書 副教材等	光村図書 書 I 教育出版 高校硬筆の練習

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書に関する見方・考え方を働かせて、書の表現方法や形式、書表現の多様性などについて書の創造的活動を通して理解するとともに、書の伝統に基づき、作品を工夫して表現するための技能を身に付け表している。	書の良さや美しさを感じ、書に関する見方・考え方を働かせて、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書を味わって深く捉えたりしている。	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	オリエンテーション 漢字の書(基本点画) 古典臨書(行書・草書・隷書・篆書・楷書) 一字書作品制作	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	100点	80点	100点
2 学 期	漢字仮名交じり書 古典臨書制作(半紙) 仮名の書 漢字仮名交じり書作品制作 (線質・潤滑・墨の濃淡・余白・紙面構成)	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	120点	120点	100点
3 学 期	篆刻 漢字仮名交じり書作品完成	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	80点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	[オリエンテーション] 書道学習の内容を理解する。	24
	5	[漢字の書(基本点画)] 筆の持ち方、構えなどを理解し、毛筆に慣れる。	
1 学期	6	[古典臨書(行書・草書・隸書・篆書・楷書)] 古典の特徴を発見、理解し、用筆や運筆、造形や線質の習得を目指す。	24
	7	[一字書作品制作] 学習した古典をもとに一字だけの作品制作を行う。紙面構成を考え、紙面のどの位置に文字を書くのが効果的かを考察させる。 また、相互批評を行い、今までの学習の根拠に基づいた自分の考えを述べさせる。	
2 学期	8	[漢字仮名交じり書] 身近な現代の文章を書くことにより、文字の持つ説得力を感じさせる。	28
	9	[古典臨書制作(半紙)] 古典臨書学習で理解した表現技法を使い、古典の特徴を掴みながらそれを表現できるようにする。(公募展出品)	
2 学期	10	[仮名の書] 古典臨書で書の技法を身に付けた上で、漢字かな交じり書作品制作のために平安時代の初期の仮名を学習し、平仮名の美しさの基本とは何かを学ぶ。	28
	11	[[思いを伝える書]制作](線質・潤滑・墨の濃淡・余白・紙面構成) 一つ一つのテーマに沿い、漢字かな交じり書の基本を学ぶ。また、[思いを伝える書]として他の人へ思いを伝える場合に必要技法を学ぶ。作品効果として有効な事項の理解に努め制作に活かす。	
3 学期	1	[篆刻] 作品に押印する印を作成する。	18
	2	[[思いを伝える書]完成] 1年間の学習を通して習得した表現方法や技法を使い、“誰に、何を、どのように、伝えたいか”を考えながら魅力ある作品制作を目指す。特に言葉選び、イメージ設定、表現の工夫等について試行錯誤を重ね制作する。	
3 学期	3	「書」を愛好し生活の中で楽しみながら、生涯に渡り生活をより一層豊かにする姿勢を大切にす。	

5 その他

- 授業は2時間連続で行います。
- 授業に必要な道具は各自できちんと管理してください。
- 書道で進学を考えている人は必ず担当教諭に申し出てください。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	楽典・ソルフェージュ I	単位数	1単位
		学年等	2年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>聴音や視唱などの諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ専門的な音楽に関する資質・能力を次のように育成することを目指す。</p> <p>(1)拍子、リズムなどの音楽理論について理解するとともに、読譜や演奏表現をするために必要な技能を身につけるようにする。</p> <p>(2)聴き取った声部を正確に捉え、旋律視唱の表現を創意工夫することができるようにする。</p> <p>(3)音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高めるとともに、主体的に楽譜から情報を読み取ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	音楽通論・The Basics of Music(ワークシートも配付)・コールユーブンゲンまたはコンコーネ

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・聴音などにおいて、和声等を理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付けている。 ・各課題の調性や拍子を理解し、正確な音程やリズム、音価、和声を記譜する。調性に沿った臨時記号を選択し、記譜する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律や和声を知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感やリズム感をもって音楽を聴き取っている。 ・旋律やリズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感、和声感、リズム感を持った音楽表現をしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律やリズム、和声との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 ・旋律やリズムの変化と、それらが生み出す曲想との関わりに関心を持ち、新曲視唱の活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	[楽典]音の種類・音名と階名・様々な譜表 [視唱]発声の基礎、新曲視唱 [聴音]基本的な単旋律聴音	小テスト ワークシート記述	小テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
2 学期	[楽典]リズムと拍子・音程の基礎 [視唱]新曲視唱 [聴音]複旋律聴音	小テスト ワークシート記述	小テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
3 学期	[楽典]音階 [視唱]新曲視唱 [聴音]和声聴音	小テスト ワークシート記述	小テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	〔楽典〕音の種類・音名と階名・様々な譜表 ・音楽を専門的に学ぶ際に必須の「音」「音名」「リズム」「拍子」「音程」に関する基礎知識を理解する。	12
	5	○----- 〔視唱〕発声の基礎、新曲視唱	
	6	・音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を高める。 ・新曲視唱に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付ける。	
	7	〔聴音〕基本的な単旋律聴音 ・音の響きや音型、リズムを理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付ける。 ○-----	
2 学期	8	〔楽典〕リズムと拍子・音程の基礎 ・音楽を専門的に学ぶ際に必須の「音」「音名」「リズム」「拍子」「音程」に関する基礎知識を理解する。	14
	9	○-----	
	10	〔視唱〕新曲視唱 ・音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を高める。	
	11	・新曲視唱に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付ける。	
12	〔聴音〕複旋律聴音 ・音の響きや音型、リズム、和声を理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付ける。 ○-----		
3 学期	1	〔楽典〕音階 ・「音階」に関する基礎知識を理解する。	9
	2	〔視唱〕新曲視唱 ・音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を高める。 ・新曲視唱に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付ける。	
	3	〔聴音〕和声聴音 ・音の響きや音型、リズム、和声を理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付ける。 ○-----	

5 その他

- 聴音や視唱のテストを行います。
- 進学で必要な人は必ず担当教員に申し出て下さい。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	音楽探究	単位数	2単位
		学年等	2年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、地域社会を担う生き方や働き方を考えながら、地域の活性化に向けた課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)地域に関わる様々な事象について探究するために必要な基本的な知識及び技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)芸術的な内容を日常生活と関連づけ、音楽を通じた地域への着手方法を自ら考え、情報収集や整理分析をして、総括・表現できる力を養う。</p> <p>(3)地域に関わる様々な事象や地域の活性化に向けた課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	音楽通論・The Basics of Music(単元によってワークシートも配付)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとしている。
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	〔歌唱〕斉唱 〔器楽〕三線 ☆西洋音楽史	実技テスト ワークシート記述	実技テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
2 学期	〔歌唱〕斉唱、合唱 〔器楽〕ヴァイオリン ☆演奏企画 ☆大学体験授業	実技テスト ワークシート記述	実技テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
3 学期	〔歌唱〕斉唱、合唱 〔器楽〕鍵盤楽器 ☆西洋音楽史	発表 ワークシート記述	発表 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	〔歌唱〕 イタリア歌曲／合唱 ・イタリア語の発音とベルカント唱法を身に付ける。 ・リズムを意識して個性豊かな歌唱表現を創意工夫する。	24
	5	・イタリア語の特性とそれにふさわしい発声、拍子にあった歌唱表現に主体的に取り組む。 ○-----	
	6	〔器楽〕 三線「島人ぬ宝」「海の声」／リコーダーアンサンブル／吹奏楽 ・音色や奏法との関わりやその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。 ☆演奏企画	
	7	・主体的・協働的に演奏企画の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。 ○-----コンサート実施	
2 学期	8	〔歌唱〕 ドイツ歌曲／合唱 ・ドイツ語の発音を学び、強弱によるリズムと旋律との関わりを理解するとともに、曲にふさわしい	28
	9	表現で歌う。 ○-----	
	10	〔器楽〕 ヴァイオリン「歓喜の歌」「アメイジング・グレイス」／ハンドベル／吹奏楽 ・音色や奏法との関わりやその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。 ☆演奏企画	
	12	・主体的・協働的に演奏企画の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。 ☆大学体験授業 ・音楽大学での古楽器演奏体験やソルフェージュ講義体験を通じて 興味関心を高める。 ○-----コンサート実施	
3 学期	1	〔歌唱〕 斉唱、合唱 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。	18
	2	〔器楽〕 鍵盤楽器 ・音色や奏法との関わりやその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。	
	3	☆西洋音楽史 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え音楽のよさや美しさを深く味わって聴く。 ○-----コンサート実施	

5 その他

- 単元ごとに実技テストや発表を行います。
- 進学で必要な人は必ず担当教員に申し出て下さい。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	素描表現	単位数	1単位
		学年等	2年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術表現を通じて感性や美意識、想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすなどの造形的な見方・考え方を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。</p> <p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める。</p> <p>(2)意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(3)主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化の親しみ、心豊かな生活や社会を創造する態度を養う</p>
使用教科書 副教材等	副教材:基礎から学ぶ鉛筆デッサン(代々木ゼミナール)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	目的や意図に基づいて技法や材料などの特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を考えることができる。	心の中の感情のイメージを基に主体的に主題を生成し、表現形式の特性と色や形などの創造的表現の構想が練ることができる。発想力や構想能力が独創的で優れている。	主体的に絵画、デザイン、工芸、彫刻などの創造活動に取り組もうとしている。 新しい課題にも意欲的に取り組んでいる。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	オリエンテーションを通じて1年間のつづける力を理解する。 素描について 描画材料の違いについて グラデーションを使った作品	授業中の行動観察 作品分析	作品分析	・授業中の行動観察 ・進捗表の記入 ・作品鑑賞力
	評価点	100点	100点	100点
2	鉛筆による模写 幾何学形態を使った鉛筆作品	・授業中の行動観察 作品分析	作品分析 作品分析	授業中の行動観察 進捗表の記入 作品鑑賞力
	評価点	100点	100点	100点

3	2つ以上のモチーフをつかった作品 3つ以上のモチーフをつかった作品	授業中の行動観察 作品分析	作品分析 作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞力
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	はじめに(オリエンテーション) ・美術への招待、これからの授業内容の確認 ①素描材料について ・鉛筆、コンテ、木炭などの描画材料を使い分けることを理解する。	12
	5	②鉛筆の持ち方について ・鉛筆の持ち方によって表現が変わることを理解する。	
	6	③鉛筆の硬さについて ・鉛筆にも濃さによって表現が変わることを理解する。	
	7	④鉛筆による明暗をグラデーションで表現する ・グラデーションによって明るさ、暗さかわることを理解する。	
2	8	①鉛筆による著名な作家の作品を模写する。 ・模写をすることによって、優れた鉛筆技法を学ぶ。	14
	9	②幾何学形態の石膏を2つ選び、鉛筆で表現する。	
	10	・球体、円錐、直方体などの石膏から明暗関係や立体感を理解する。	
	11 12		
3	1	2つ以上の質感の違うモチーフを鉛筆で表現する。	9
	2	・質感の異なる(石と紙など)モチーフを表現することにより、表現力を身につける。	
	3	②3つ以上の質感の違うモチーフを鉛筆で表現する ・ガラスの瓶と木とビニールのひもの3つのモチーフ。	

5 その他

美術の基礎的な内容を通じて、表現する喜びを育てる。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術探究	単位数	2単位
		学年等	2年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、地域社会を担う生き方や働き方を考えながら、地域の活性化に向けた課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)地域に関わる様々な事象について探究するために必要な基本的な知識及び技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)芸術的な内容を日常生活と関連づけ、芸術を通じた地域への着手方法を自ら考え、情報収集や整理分析をして、総括・表現できる力を養う。</p> <p>(3)地域に関わる様々な事象や地域の活性化に向けた課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書: 高校生の美術1</p> <p>副教材: 基礎から学ぶ鉛筆デッサン(代々木ゼミナール) 自主教材: 自主制作プリント</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	目的や意図に基づいて技法や材料などの特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を考えることができる	心の中の感情のイメージを基に主体的に主題を生成し、表現形式の特性と色や形などの創造的表現の構想が練ることができる。発想力や構想能力が独創的で優れている。	意欲的に絵画、彫刻、デザイン、工芸などの創造的活動に取り組もうとしている。 新しい課題にも意欲的に取り組んでいる。
評価点	400点	400点	400点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	オリエンテーションを通じて1年間のつる力を理解する。 陶芸作品 版画によるシルクスクリーン作品	授業中の行動観察 作品分析	作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞能力
	評価点	200点	200点	200点
2 学期	工芸作品 彫刻作品	授業中の行動観察 作品分析	作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞能力
	評価点	100点	100点	100点
3 学期	テンペラ絵画	授業中の行動観察 作品分析	作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞能力
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	①始めにオリエンテーションを通じて一年間のつける力を理解する。 美術への招待 今後の授業内容について理解する。	24
	5	②陶芸制作(マグカップ、茶碗) やきものとしての歴史や、制作工程を理解する。板作りによるマグカップの制作、ひも作りによる茶碗制作をする。自分が制作した器が使える喜び、楽しさを味わう。	
	6	③切り絵の制作 カッターナイフの使い方に慣れる	
	7	④ 版画制作の制作(シルクスクリーン) オリジナル性を重視した T シャツのデザインを考える。シルクスクリーン版画の特性を意識した上での配色計画を立てる。	
2 学期	8	工芸について 機能性やデザイン性を考えた木のスプーン、フォーク、バターナイフの三点を通じて用と美を意識した作品作りを考える	28
	9	彫刻について	
	10	① 篆刻 自分の名前のデザインを考える ② 連想語から彫刻作品を考える。 ・言葉からの連想から具体的な形にすることを理解する。 ・隣にある面とのつながりを大切に作品をつくる。	
	11 12		
3 学期	1	テンペラ絵画の制作	18
	2	卵を使ったテンペラの表現方法を習得することにより、絵画の楽しさを感じ取る。	
	3	作品展に向けて さわやかハイスクール等を利用し、公民館での作品展を行う	

5 その他

美術の領域の絵画、デザイン、工芸、彫刻、鑑賞の5つの分野を幅広く取り入れることにより、個々の美術の探究心を養うとともに自分の制作した作品を作品展に展示することで、多くの方々に見ていただくことにより作品づくりの意義を感じるようにする。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	実用書道	単位数	1単位
		学年等	2年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>日常生活における書に触れる活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の伝統と文化に基づき、生活面においての応用的な書としての知識、技能を身に付ける。</p> <p>(2) 書の良さや美しさを感じ、状況に合わせた表現を工夫し書的美を味わい深く捉え、それを作品によって表現できるようにする。</p> <p>読み手のことを考えて、丁寧に読みやすく書こうとするとともに、何のために書くのかを考えて、それぞれの目的にふさわしい書き方で書こうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	大人のたしなみ美しいペン字練習帳 AERA lesson(朝日新聞出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書に関する見方・考え方を働かせて、書の表現方法や形式、書表現の多様性などについて書の創造的活動を通して理解するとともに、書の伝統に基づき、作品を工夫して表現するための技能を身に付け表している。	書の良さや美しさを感じ、書に関する見方・考え方を働かせて、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書を味わって深く捉えたりしている。	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	オリエンテーション 直線・止め・曲線・間隔のトレーニング 古典から学ぶ漢字の字形 平仮名・カタカナのマスター 日常使う言葉の練習	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	100点	80点	100点
2 学期	手紙を書こう レイアウトの練習(封筒や葉書の宛名書き) 筆を使った実用書(冠婚葬祭用) 年賀状を書こう	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	120点	120点	100点
3 学期	文章を書いてみよう(コラム等) 志望理由書・自己推薦書を書こう	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	80点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	[オリエンテーション] 実用書学習の内容を理解する。	12
	5	[直線・止め・曲線・間隔のトレーニング] 今まで書いてきた自分の字の基本点画を再確認し直すべきところは直していく。	
	6	[古典から学ぶ漢字の字形] 九成宮醜泉銘などの古典を基に、美しい漢字の点画のバランスについて分析する。	
	7	[平仮名・カタカナのマスター] 平仮名・カタカナの成り立ちから考察していき、美しい仮名文字を身に付ける。 [日常使う言葉の練習] 漢字と仮名が混ざった状態の現代の言葉や文章をどうやってバランスを取り書いていくのかを考える。	
2 学期	8	[手紙を書こう] 大切な人にあてて便箋に直筆で手紙を書く。将来、お礼状等が書けるように。	14
	9	[レイアウトの練習(封筒や葉書の宛名書き)] 郵送のための封筒や葉書の一般的な宛名書きを学ぶ。	
	10	[筆を使った実用書] 現代でも一般的に使用されるお祝いや冠婚葬祭での実用書について、小筆だけでなく筆ペンも使用し学ぶ。	
	11		
	12	[年賀状を書こう] 親しい人やお世話になった人に年賀状を書く。	
3 学期	1	[文章を書いてみよう] 天声人語などの文章をいかに早く美しく書けるかを学ぶ	9
	2	[志望理由書・自己推薦書を書こう] 1年間学んだ文字の書き方を実践的に使用する。美しく書くのは勿論、自分の進路に向けて自分自身を振り返っていく。	
	3		

5 その他

- 授業に必要な道具は各自できちんと管理してください。
- 書道で進学を考えている人は必ず担当教諭に申し出てください。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	書道探究	単位数	2単位
		学年等	2年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、地域社会を担う生き方や働き方を考えながら、地域の活性化に向けた課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)地域に関わる様々な事象について探究するために必要な基本的な知識及び技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)芸術的な内容を日常生活と関連づけ、書道を通じた地域への着手方法を自ら考え、情報収集や整理分析をして、総括・表現できる力を養う。</p> <p>(3)地域に関わる様々な事象や地域の活性化に向けた課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	改訂版 書道芸術 漢字編

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書に関する見方・考え方を働かせて、書の表現方法や形式、書表現の多様性などについて書の創造的活動を通して理解するとともに、書の伝統に基づき、作品を工夫して表現するための技能を身に付け表している。	書の良さや美しさを感じ、書に関する見方・考え方を働かせて、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書を味わって深く捉えたりしている。	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	オリエンテーション 仮名の書(変体仮名、連綿) 篆刻 一字書作品制作	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	100点	80点	100点
2 学 期	漢字仮名交じり書 古典臨書制作(半紙) 自分の名前の作品化 刻字作品制作 漢字仮名交じり書作品制作(装丁も含む)	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	120点	120点	100点
3 学 期	漢字仮名交じり書作品完成(装丁も含む)	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	80点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	[オリエンテーション] 書道学習の内容を理解する。 [漢字の書(応用)] 筆遣い、墨の濃淡、線質、空間処理の復習。	24
	5	[仮名の書] 古典の特徴を発見、理解し、用筆や運筆、造形や線質の習得を目指す。 また、紙面全体における構図、空間処理の意味を考察させる。	
	6	[篆刻] 作品に押印する印を作成する。 [一字書作品制作] 学習した古典をもとに一字だけでの作品制作を行う。紙面構成を考え、紙面のどの位置に文字を書くのが効果的かを考察させる。	
	7	[鑑賞] 1学期作品の相互批評を行う。今までの学習の根拠に基づいた自分の考えを述べさせるとともに、作品を見てどのように感じたかを発表させる。	
2 学期	8	[漢字仮名交じり書] 身近な現代の文章を書くことにより、文字の持つ説得力を感じさせる。 [古典臨書制作(半紙)] 古典臨書学習で理解した表現技法を使い、古典の特徴を掴みながらそれを表現できるようにする。(公募展出品)	28
	9		
	10	[自分の名前前の作品化] 自分の名前前の文字を書道字典で調べ草稿を作り作品化する。 [刻字作品] 紙に筆書したものと木に刻したものの違いを感じ、立体的な書における表現効果を工夫し制作する。	
	11	[漢字仮名交じり書【思いを伝える書】制作](線質・潤滑・墨の濃淡・余白・紙面構成) 一人一人がテーマを持ち、漢字かな交じり書の作品制作を行う。 1年次よりも古典に根差した文字を使用した上で、自分のテーマに沿った作品を制作する。装丁も含め【思いを伝える】ため何が必要なのかを考察する。 [鑑賞] 2学期作品の相互批評を行う。今までの学習の根拠に基づいた自分の考えを述べさせるとともに、作品を見てどのように感じたかを発表させる。	
3 学期	1	【【思いを伝える書】完成】	18
	2	2年間の学習を通して習得した表現方法や技法を使い、“誰に、何を、どのように、伝えたいか”を考えながら魅力ある作品制作を目指す。特に言葉選び、イメージ設定、表現の工夫等について試行錯誤を重ね制作する。「書」を愛好し生活の中で楽しみながら、生涯に渡り生活をより一層豊かにする姿勢を大切にす。	
	3		

5 その他

- 授業は2時間連続で行います。
- 授業に必要な道具は各自できちんと管理してください。
- 書道で進学を考えている人は必ず担当教諭に申し出てください。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	楽典・ソルフェージュⅡ	単位数	3単位
		学年等	3年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>楽典及びソルフェージュに関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 視唱、視奏及び聴音や読譜力に関する知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 探究活動や演奏研究をとおして、音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力等を育成する。</p> <p>(3) 音楽性豊かな表現をするため学習を大切にすることを養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:教育芸術社 教芸音楽研究グループ「Joy of Music」</p> <p>副教材:The Basics of Music(単元によってワークシートも配付)・音楽通論</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>・聴音などにおいて、和声等を理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付けている。</p> <p>・各課題の調性や拍子を理解し、正確な音程やリズム、音価、和声を記譜する。調性に沿った臨時記号を選択し、記譜する力を身に付けている。</p>	<p>・旋律や和声を知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感やリズム感をもって音楽を聴き取っている。</p> <p>・旋律やリズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感、和声感、リズム感を持った音楽表現をしようとしている。</p>	<p>・旋律やリズム、和声との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>・旋律やリズムの変化と、それらが生み出す曲想との関わりに関心を持ち、新曲視唱の活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。</p>
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	〔楽典〕2年次の総復習・和音 〔視唱〕新曲視唱 〔聴音〕複旋律聴音・和声聴音	小テスト ワークシート記述	小テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
2 学期	〔楽典〕調判定・実践問題 〔視唱〕新曲視唱 〔聴音〕複旋律聴音・和声聴音	小テスト ワークシート記述	小テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
3 学期	〔楽典〕実践問題 〔視唱〕新曲視唱 〔聴音〕複旋律聴音・和声聴音	小テスト ワークシート記述	小テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	〔楽典〕2年次の総復習・和音 ・音楽を専門的に学ぶ際に必須の「和音」に関する基礎知識を理解する。 ○-----	36
	5	〔視唱〕新曲視唱 ・音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を高める。	
	6	・新曲視唱に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付ける。	
	7	〔聴音〕複旋律聴音・和声聴音 ・音の響きや音型、リズムを理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付ける。 ○-----	
2 学期	8	〔楽典〕調判定・実践問題 ・これまで学習した内容を踏まえて調判定ができるようにする。 ○-----	42
	9	〔視唱〕新曲視唱	
	10	・音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を高める。 ・新曲視唱に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付ける。	
	11	〔聴音〕複旋律聴音・和声聴音	
12	・音の響きや音型、リズム、和声を理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付ける。 ○-----		
3 学期	1	〔楽典〕実践問題 ・これまで学習した内容を、総合問題等を解き理解する。	27
	2	〔視唱〕新曲視唱 ・音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を高める。 ・新曲視唱に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付ける。	
	3	〔聴音〕複旋律聴音・和声聴音 ・音の響きや音型、リズム、和声を理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付ける。 ○-----	

5 その他

- 聴音や視唱のテストを行います。
- 進学で必要な人は必ず担当教員に申し出て下さい。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	音楽探究	単位数	2単位
		学年等	3年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、地域社会を担う自己の生き方や在り方をより深く考えながら、地域の活性化に向けた課題を発見し解決していくための実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、地域に関わる様々な課題の発見と解決に必要な音楽に関する知識・技能を身に付け、課題にかかわる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活及び音楽と自己の関わりから問いを見だし、音楽を通じた地域の課題解決に向けた方法を自ら考え、情報収集や整理・分析をして、まとめ・表現できるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、音楽を通じたより良い社会の実現に向けて取り組む態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:教育芸術社 教芸音楽研究グループ「Joy of Music」</p> <p>副教材:The Basics of Music(単元によってワークシートも配付)・音楽通論</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</p>	<p>主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとしている。</p>
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	〔歌唱〕斉唱 〔器楽〕三線 ☆西洋音楽史	実技テスト ワークシート記述	実技テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
2 学 期	〔歌唱〕斉唱、合唱 〔器楽〕ヴァイオリン ☆演奏企画	実技テスト ワークシート記述	実技テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
3 学 期	〔歌唱〕斉唱、合唱 〔器楽〕鍵盤楽器 ☆西洋音楽史	発表 ワークシート記述	発表 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	〔歌唱〕 イタリア歌曲／合唱 ・イタリア語の発音とベルカント唱法を身に付ける。 ・リズムを意識して個性豊かな歌唱表現を創意工夫する。	24
	5	・イタリア語の特性とそれにふさわしい発声、拍子にあった歌唱表現に主体的に取り組む。 ○-----	
	6	〔器楽〕 三線「島人ぬ宝」「海の声」／リコーダーアンサンブル／吹奏楽 ・音色や奏法との関わりやその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。 ☆演奏企画	
	7	・主体的・協働的に演奏企画の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。 ○-----コンサート実施	
2 学期	8	〔歌唱〕 ドイツ歌曲／合唱 ・ドイツ語の発音を学び、強弱によるリズムと旋律との関わりを理解するとともに、曲にふさわしい表現で歌う。	28
	9	○-----	
	10	〔器楽〕 ヴァイオリン「歓喜の歌」「アメイジング・グレイス」／ハンドベル／吹奏楽 ・音色や奏法との関わりやその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。 ☆演奏企画	
	11	・主体的・協働的に演奏企画の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。 ☆大学体験授業 ・音楽大学での古楽器演奏体験やソルフェージュ講義体験を通じて 興味関心を高める。 ○-----コンサート実施	
3 学期	1	〔歌唱〕 斉唱、合唱 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。	18
	2	〔器楽〕 鍵盤楽器 ・音色や奏法との関わりやその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。 ☆西洋音楽史	
	3	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え音楽のよさや美しさを深く味わって聴く。 ○-----コンサート実施	

5 その他

- 単元ごとに実技テストや発表を行います。
- 進学で必要な人は必ず担当教員に申し出て下さい。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	演奏・鑑賞研究	単位数	2単位
		学年等	3年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>音楽作品の演奏研究を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 演奏及び鑑賞における客観性と多様性について理解を深めるとともに、理解したことを生かした演奏及び鑑賞をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽の様式を踏まえた演奏に関する思考力、判断力、表現力等を育成する。</p> <p>(3) 音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞したりする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書・教育芸術社 教芸音楽研究グループ「Joy of Music」</p> <p>副教材：The Basics of Music(単元によってワークシートも配付)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・聴音や視唱で扱った課題を読み取り、楽曲の構成や和声進行を理解する力を身に付けている。	・旋律や和声を知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感やリズム感をもって音楽を聴き取っている。 ・旋律やリズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感、和声感、リズム感を持った音楽表現をしようとしている。	・旋律やリズム、和声との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 ・旋律やリズムの変化と、それらが生み出す曲想との関わりに関心を持ち、演奏に主体的・協働的に取り組もうとしている。
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	[楽曲分析] 視唱課題 [和声分析]聴音課題 [専攻実技課題]基礎練習・エチュード	実技課題 ワークシート記述	実技課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
2 学期	[楽曲分析] 視唱課題 [和声分析]聴音課題 [専攻実技課題]エチュード・小品・協奏曲	実技課題 ワークシート記述	実技課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点
3 学期	[楽曲分析] 視唱課題 [和声分析]聴音課題 [専攻実技課題]エチュード・小品・協奏曲	実技課題 ワークシート記述	実技課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	〔楽曲分析〕視唱課題 ・視唱で扱った教材(コールユーブンゲンの後半ページやコンコーネなど)を用いて、楽曲分析を行い、よりよい音楽表現を研究する。	24
	5	○----- 〔和声分析〕聴音課題 ・聴音で培った音の聴き取り方、感じ方をもとに、楽譜を和声分析できるようにする。	
	6	〔専攻実技課題〕基礎練習・エチュード・小品・コンチェルトなど ・個々に応じた実技課題作品の楽譜を読み取り、ふさわしい表現を研究する。	
	7	○-----	
2 学期	8	〔楽曲分析〕視唱課題 ・視唱で扱った教材(コールユーブンゲンの後半ページやコンコーネなど)を用いて、楽曲分析を行い、よりよい音楽表現を研究する。	28
	9	○-----	
	10	〔和声分析〕聴音課題 ・聴音で培った音の聴き取り方、感じ方をもとに、楽譜を和声分析できるようにする。	
	11	〔専攻実技課題〕基礎練習・エチュード・小品・コンチェルトなど ・個々に応じた実技課題作品の楽譜を読み取り、ふさわしい表現を研究する。	
12	○-----		
3 学期	1	〔楽曲分析〕視唱課題 ・視唱で扱った教材(コールユーブンゲンの後半ページやコンコーネなど)を用いて、楽曲分析を行い、よりよい音楽表現を研究する。	18
	2	〔和声分析〕聴音課題 ・聴音で培った音の聴き取り方、感じ方をもとに、楽譜を和声分析できるようにする。	
	3	〔専攻実技課題〕基礎練習・エチュード・小品・コンチェルトなど ○-----	

5 その他

- 単元ごとに実技テストや発表を行います。
- 進学に必要な人は必ず担当教員に申し出て下さい。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	描画表現	単位数	3単位
		学年等	3年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>素描を中心とする美術の創造的な活動を通して、対象を深く観察しながら造形的な見方・考え方を働かせ、対象のイメージや形体、質感、空間から美しさや自分としての価値を見出し、専門的な美術に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)表現材料の特性について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)対象のイメージや形体、質感、空間を把握し表現するための思考力、判断力、表現力等を育成する。</p> <p>(3)主体的に表現を追求する態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書: 高校生の美術1</p> <p>副教材: 基礎から学ぶ鉛筆デッサン(代々木ゼミナール) 自主教材: 自主制作プリント</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	目的や意図に基づいて技法や材料などの特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を考えることができる	心の中の感情のイメージを基に主体的に主題を生成し、表現形式の特性と色や形などの創造的表現の構想が練ることができる。発想力や構想能力が独創的で優れている。	意欲的に絵画、彫刻、デザイン、工芸などの創造的活動に取り組もうとしている。 新しい課題にも意欲的に取り組んでいる。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	オリエンテーション 形と明暗をとらえる 身近なものを描く	・授業中の行動観察 ・作品分析	・作品分析	・授業中の行動観察 ・進捗表の記入 ・作品鑑賞力
	評価点	100点	100点	100点
2	静物を描く 石膏像を描く 自由テーマによる制作	・授業中の行動観察 ・作品分析	・作品分析	・授業中の行動観察 ・進捗表の記入 ・作品鑑賞力
	評価点	100点	100点	100点
3	自由テーマによる制作	・授業中の行動観察 ・作品分析	・作品分析	・授業中の行動観察 ・進捗表の記入 ・作品鑑賞力
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	オリエンテーション ○描画表現の授業について	36
	5	形と明暗をとらえる ○幾何形体の石膏を描く ○デッサンの基礎を身につける	
	6	身近なものを描く	
	7	○さまざまな素材のモチーフを描く ○モチーフごとに異なる形、明暗、質感を捉える	
2	8	静物を描く ○複数のモチーフを組み合わせて描く	42
	9	○形や明暗、質感に加えて、空間を捉える	
	10	石膏像を描く ○複雑な形や明暗を捉える	
	11	自由テーマによる制作	
	12	○鉛筆や木炭などによる表現の可能性を探る ○モチーフを自由に選び、表現する	
3	1	自由テーマによる制作	27
	2	○鉛筆や木炭などによる表現の可能性を探る	
	3	○モチーフを自由に選び、表現する	

5 その他

--

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術探究	単位数	2単位
		学年等	3年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、地域社会を担う自己の生き方や在り方をより深く考えながら、地域の活性化に向けた課題を発見し解決していくための実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、地域に関わる様々な課題の発見と解決に必要な美術に関する知識・技能を身に付け、課題にかかわる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活及び美術と自己の関わりから問いを見だし、美術を通じた地域の課題解決に向けた方法を自ら考え、情報収集や整理・分析をして、まとめ・表現できるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、美術を通じたより良い社会の実現に向けて取り組む態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書: 高校生の美術1</p> <p>副教材: 基礎から学ぶ鉛筆デッサン(代々木ゼミナール) 自主教材: 自主制作プリント</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	目的や意図に基づいて技法や材料などの特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を考えることができる。	心の中の感情のイメージを基に主体的に主題を生成し、表現形式の特性と色や形などの創造的表現の構想が練ることができる。発想力や構想能力が独創的で優れている。	意欲的に絵画、彫刻、デザイン、工芸などの創造的活動に取り組もうとしている。 新しい課題にも意欲的に取り組んでいる。
評価点	600点	600点	600点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	オリエンテーション 陶芸作品 版画によるシルクスクリーン作品	授業中の行動観察 作品分析	作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞能力
	評価点	200点	200点	200点
2	工芸作品 彫刻作品	授業中の行動観察 作品分析	作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞能力
	評価点	300点	300点	300点
3	テンペラ絵画	授業中の行動観察 作品分析	作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞能力
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	オリエンテーション ○美術探究の授業内容について理解する。	24
	5	陶芸制作(マグカップ、茶碗) ○やきものとしての歴史や、制作工程を理解する。	
	6	○板作りによるマグカップの制作、ひも作りによる茶碗制作をする。 ○自分が制作した器が使える喜び、楽しさを味わう。	
	7	切り絵の制作 ○カッターナイフの使い方に慣れる 版画制作の制作(シルクスクリーン) ○オリジナル性を重視した T シャツのデザインを考える。 ○シルクスクリーン版画の特性を意識した上での配色計画を立てる。	
2	8	木彫りによる制作 ○機能性やデザイン性を考えた木のスプーン、フォーク、バターナイフの制作	28
	9	○用と美を意識した作品づくりを考える。	
	10	彫刻 ① 篆刻 自分の名前のデザインを考える	
	11	② 連想語から彫刻作品を考える。 ○言葉からの連想から具体的な形にすることを理解する。	
12	○隣にある面とのつながりを大切にして作品をつくる。		
3	1	テンペラ絵画 ○卵を使ったテンペラの表現方法を習得することにより、絵画の楽しさを感じ取る。	18
	2	作品展に向けて	
	3	○さわやかハイスクール等を利用し、公民館での作品展を行う	

5 その他

美術の領域の絵画、デザイン、工芸、彫刻、鑑賞の5つの分野を幅広く取り入れることにより、個々の美術の探究心を養うとともに自分の制作した作品を作品展に展示することで、多くの方々に見ていただくことにより作品づくりの意義を感じるようにする。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	造形表現	単位数	2単位
		学年等	3年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	造形を中心とする学習や活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)造形との調和について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けるようにする。 (2)造形に関する表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3)造形の可能性を追求する態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書:高校生の美術1 副教材:基礎から学ぶ鉛筆デッサン(代々木ゼミナール) 自主教材:自主制作プリント

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	目的や意図に基づいて技法や材料などの特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を考えることができる	心の中の感情のイメージを基に主体的に主題を生成し、表現形式の特性と色や形などの創造的表現の構想が練ることができる。発想力や構想能力が独創的で優れている。	意欲的に絵画、彫刻、デザイン、工芸などの創造的活動に取り組もうとしている。 新しい課題にも意欲的に取り組んでいる。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	オリエンテーション ポスター制作	・授業中の行動観察 ・作品分析	・作品分析	・授業中の行動観察 ・進捗表の記述分析 ・作品鑑賞力
	評価点	100点	100点	100点
2	モチーフを使った表現 イメージによる表現 自由テーマによる制作	・授業中の行動観察 ・作品分析	・作品分析	・授業中の行動観察 ・進捗表の記述分析 ・作品鑑賞力
	・授業中の行動観察 ・作品分析	100点	100点	100点
3	自由テーマによる制作		・作品分析	・授業中の行動観察 ・進捗表の記述分析 ・作品鑑賞力
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	オリエンテーション ○造形表現の授業について	24
	5	ポスター制作	
	6	○与えられたテーマから発想し、ポスターを制作する。	
	7	○ポスターのもつ社会的な役割について考え、色や形の効果を狙いながら制作する。 ○アクリルガッシュの特性について理解し、意図に応じた効果的な表現を探る。	
2	8	モチーフを使った表現	28
	9	○複数のモチーフを組みあわせて構成し、表現する。	
		イメージによる表現	
	10	○「輝く」「浸食」などの言葉からイメージした色と形を表現する。	
	11	自由テーマによる制作 ○絵画やデザインの制作を通じて、表現の可能性を探る	
12	○自らテーマを決め、発想・構想し表現する		
3	1	自由テーマによる制作	18
	2	○絵画やデザインの制作を通じて、表現の可能性を探る	
	3	○自らテーマを決め、発想・構想し表現する	

5 その他

--

令和8年度年間指導計画表(シラバス)

科目名	書道実習	単位数	3単位
		学年等	3年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための応用的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の多様な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	書Ⅱ(光村図書)、改訂版 書道芸術 漢字編

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書に関する見方・考え方を働かせて、書の表現方法や形式、書表現の多様性などについて書の創造的活動を通して理解するとともに、書の伝統に基づき、作品を工夫して表現するための技能を身に付け表している。	書の良さや美しさを感じ、書に関する見方・考え方を働かせて、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書を味わって深く捉えたりしている。	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	書以外の美術作品の鑑賞 中国の書と日本の書 水墨画から空間を学ぶ 王鐸・鉄斎・継色紙から行の流れを学ぶ	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	110点	100点	120点
2	墨を自在に使おう 筆の特徴を知ろう 近現代作家を学ぶ 目的に応じた作品を作ろう 鑑賞を通して評価について考える 作品制作	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	120点	130点	110点

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3	作品制作	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	70点	70点	70点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	[書以外の美術作品の鑑賞] 日本だけでなく海外の絵画・彫刻・写真作品を鑑賞し書道との差や共通点を見つける。	36
	5	[中国の書と日本の書] 書道という観点で日本と中国の書道の差や共通点を見つける。	
	6	[水墨画から空間を学ぶ] 中国・日本の水墨画から空間の使い方を鑑賞・考察する。	
	7	[王鐸・鉄斎・継色紙から行の流れを学ぶ] 中国における王鐸の空間を生かした行の作り方、日本の鉄斎の行の流し方、仮名の継色紙に含まれる行の流れや空間の活かし方を臨書を通じて学ぶ。	
2	8	[墨を自在に使おう]	42
	9	松煙墨・油煙墨を使い墨の濃さによる色や表現の違いを考察する。	
	10	[筆の特徴を知ろう]	
	11	毛の種類・長さによって変わる表現の違いを実際に書き考察する。	
	12	[近現代作家を学ぶ] 近現代作家の作品の鑑賞を行い、筆・墨・技法・空間等の表現方法について考察する。 [目的に応じた作品を作ろう] 制作目的を考え、書きたい言葉を見つけ、その言葉に合わせて古典・近現代の作品から自分の目的に近いものを見つけ、制作するための流れを作る。 [鑑賞を通して評価について考える] 自分の作品制作を通じ、評価について考える。 作品を制作していく上で評価してほしい部分、注目してほしい部分を項目立てる。 最終目標と到達度について考察する。 [作品制作] 評価を考えたいうえで自らの作品について再考し、制作していく。	
3	1	[作品制作]	27
	2	卒業作品の制作を行う。	

5 その他

- 授業に必要な道具は各自できちんと管理してください。
- 書道で進学を考えている人は必ず担当教諭に申し出てください。

令和8年度年間指導計画表(シラバス)

科目名	書道探究	単位数	2単位
		学年等	3年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、地域社会を担う自己の生き方や在り方をより深く考えながら、地域の活性化に向けた課題を発見し解決していくための実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、地域に関わる様々な課題の発見と解決に必要な書道に関する知識・技能を身に付け、課題にかかわる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活及び書道と自己の関わりから問いを見だし、書道を通じた地域の課題解決に向けた方法を自ら考え、情報収集や整理・分析をして、まとめ・表現できるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、書道を通じたより良い社会の実現に向けて取り組む態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	書Ⅱ(光村図書)、改訂版 書道芸術 漢字編

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書に関する見方・考え方を働かせて、書の表現方法や形式、書表現の多様性などについて書の創造的活動を通して理解するとともに、書の伝統に基づき、作品を工夫して表現するための技能を身に付け表している。	書の良さや美しさを感じ、書に関する見方・考え方を働かせて、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書を味わって深く捉えたりしている。	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	オリエンテーション 仮名の書(変体仮名、連綿) 篆刻 一字書作品制作	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	100点	80点	100点
2	漢字仮名交じり書 古典臨書制作(半紙) 自分の名前の作品化 刻字作品制作 漢字仮名交じり書作品制作(装丁も含む)	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	120点	120点	100点
3	漢字仮名交じり書作品完成(装丁も含む)	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	80点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	[オリエンテーション] 書道学習の内容を理解する。 [漢字の書(応用)] 筆遣い、墨の濃淡、線質、空間処理の復習。	24
	5	[仮名の書] 古典の特徴を発見、理解し、用筆や運筆、造形や線質の習得を目指す。 また、紙面全体における構図、空間処理の意味を考察させる。	
	6	[篆刻] 作品に押印する印を作成する。 [一字書作品制作] 学習した古典をもとに一字だけでの作品制作を行う。紙面構成を考え、紙面のどの位置に文字を書くのが効果的かを考察させる。	
	7	[鑑賞] 1学期作品の相互批評を行う。今までの学習の根拠に基づいた自分の考えを述べさせるとともに、作品を見てどのように感じたかを発表させる。	
2	8	[漢字仮名交じり書] 身近な現代の文章を書くことにより、文字の持つ説得力を感じさせる。 [古典臨書制作(半紙)] 古典臨書学習で理解した表現技法を使い、古典の特徴を掴みながらそれを表現できるようにする。(公募展出品)	28
	9		
	10	[自分の名前前の作品化] 自分の名前前の文字を書道字典で調べ草稿を作り作品化する。 [刻字作品] 紙に筆書したものと木に刻したものの違いを感じ、立体的な書における表現効果を工夫し制作する。	
	11	[漢字仮名交じり書【思いを伝える書】制作](線質・潤滑・墨の濃淡・余白・紙面構成) 一人一人がテーマを持ち、漢字かな交じり書の作品制作を行う。 1年次よりも古典に根差した文字を使用した上で、自分のテーマに沿った作品を制作する。装丁も含め【思いを伝える】ため何が必要なかを考察する。	
12	[鑑賞] 2学期作品の相互批評を行う。今までの学習の根拠に基づいた自分の考えを述べさせるとともに、作品を見てどのように感じたかを発表させる。		
3	1	[[【思いを伝える書】完成]	18
	2	2年間の学習を通して習得した表現方法や技法を使い、“誰に、何を、どのように、伝えたいか”を考えながら魅力ある作品制作を目指す。特に言葉選び、イメージ設定、表現の工夫等について試行錯誤を重ね制作する。「書」を愛好し生活の中で楽しみながら、生涯に渡り生活をより一層豊かにする姿勢を大切にす。	

5 その他

- 授業は2時間連続で行います。
- 授業に必要な道具は各自できちんと管理してください。
- 書道で進学を考えている人は必ず担当教諭に申し出てください。

令和8年度年間指導計画表(シラバス)

科目名	古典研究	単位数	2単位
		学年等	3年生クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 古典作品の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 古典作品のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し表現を工夫したり、古典作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	書Ⅱ(光村図書)、改訂版 書道芸術 漢字編

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書に関する見方・考え方を働かせて、書の表現方法や形式、書表現の多様性などについて書の創造的活動を通して理解するとともに、書の伝統に基づき、作品を工夫して表現するための技能を身に付け表している。	書の良さや美しさを感じ、書に関する見方・考え方を働かせて、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書を味わって深く捉えたりしている。	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	中国書道の古典鑑賞 中国書道史 時代による古典の比較・分析 臨書作品制作 日本書道の古典鑑賞	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	110点	100点	120点
2	日本書道史 時代による古典の比較・分析 臨書作品制作 倣書作品制作	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	120点	130点	110点

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3	古典作品制作	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	70点	70点	70点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	[中国書道の古典鑑賞] 時代を追って古典の鑑賞をし、感じたままのイメージをまとめる。	24
	5	[中国書道史] 中国書道史を学習する。	
	6	[時代による古典の比較・分析] 半紙に臨書をしながら古典ごとの筆法・技法を考察し、ワークシートにまとめる。 時代別に書体ごとの分類を行う。	
	7	[臨書作品制作] 学んだ中国古典の中での作品制作をする。	
2		[日本書道の古典鑑賞] 半紙に臨書をしながら古典ごとの筆法・技法を考察する。	28
		[日本書道史] 日本書道史を学習する。	
		[時代による古典の比較・分析] 半紙に臨書をしながら古典ごとの筆法・技法を考察し、ワークシートにまとめる。 時代別に書体ごとの分類を行う。	
		[臨書作品制作] 学んだ日本古典の中での作品制作をする。	
3		[倣書作品制作] 研究分析した古典作品の中から一つ選び、漢詩と短歌をそれぞれ1作品ずつ倣書作品を制作する	18
		[古典作品制作] 倣書作品を制作後、再度臨書作品を制作する。	

5 その他

<p>○授業に必要な道具は各自できちんと管理してください。</p> <p>○書道で進学を考えている人は必ず担当教諭に申し出てください。</p>

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーション I	単位数	3単位
		学年等	1年生全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>日常的・社会的な話題について、支援を活用しながら、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる能力を養う。 2.必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる能力を養う。 3.基本的な語句や文を用いて、情報や考えを話すことによって、相手と共有したりやりとりを続けたり、論理的に伝え合ったりすることができる能力を養う。 4.基本的な語句や文を用いて、書くことによって情報や考えを論理的に伝えることができる能力を養う。
使用教科書 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:Power On English Communication I Revised (東京書籍) ・副教材:Power On English Communication I Revised ワークブック (東京書籍) 英単語ターゲット 1200 改訂版 (旺文社) 書き込み式ノート 英単語ターゲット1200 Workbook ①②③ (旺文社) リスニング問題集 ALL EARS INTRODUCTORY (美誠社) 英語総合問題集 TREASURE HUNT 0 (いっずな書店) 英語総合問題演習 WIDE ANGLE 1 (美誠社) 新課程版 Let's Start! ー英語基礎ノートー(数研出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	Lesson1 Japan's New Tourism Lesson2 Light from Creatures Lesson3 One Small Goal at a Time Lesson4 Miniature Life	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題考査 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンス課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・パフォーマンス課題 ・学習課題

	300点	100点	100点	100点
2学期	Lesson5 Banana Paper Lesson6 Patterns in Human Behavior Lesson7 No Plastic or No Future Lesson8 Oh My Cod!	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・学習課題
	300点	100点	100点	100点
3学期	Lesson9 Is Esports a Real Sport? Lesson10 Never Too Late to Learn and Relearn	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・学習課題
	150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4	Lesson1 Japan's New Tourism (文法) 動詞の現在形・過去形・進行形・助動詞+動詞の原形	10
	5	Lesson2 Light from Creatures (文法) 受け身・現在完了形・現在完了進行形	10
	6	----- 1.学期中間考査 ----- Lesson3 One Small Goal at a Time (文法) 不定詞・S+V+O[that節]・動名詞	10
	7	Lesson4 Miniature Life (文法) 後置修飾の現在分詞・後置修飾の過去分詞・比較級・最上級	10
		----- 1.学期期末考査 ----- 学びの基礎診断	

2 学 期	8	Lesson5 Banana Paper (文法) 関係代名詞(主格)・関係代名詞(目的格)・S + seem + to 不定詞	3
	9	Lesson6 Patterns in Human Behavior (文法) It+be 動詞+形容詞+that 節・S+V[be 動詞以外]+C・S+V+O+C[形容詞] -----2学期中間考査	10
	10	Lesson7 No Plastic or No Future (文法) 関係副詞 where・関係副詞 when・関係代名詞 what -----パフォーマンス課題2	10
	11	Lesson8 Oh My Cod! (文法) 現在分詞の分詞構文・関係代名詞の非制限用法・過去完了形 -----2学期期末考査	12
	12		7
3 学 期	1	学びの基礎診断	10
	2	Lesson9 Is Esports a Real Sport? (文法) S+V[知覚]+O+C[現在分詞、原形不定詞]・S+V[使役]+O+C[原形不定詞]・ S+V+O1+O2[if などの節] -----パフォーマンス課題3	10
	3	Lesson10 Never Too Late to Learn and Relearn (文法) wish+仮定法過去の節・仮定法過去の if 節・仮定を表す without 句 -----学年末考査	3

5 その他

- 英語コミュニケーション I の授業では、ペア学習やグループ学習を取り入れ、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」を総合的に育成していきます。様々な意見や考えに触れながら協同的に学習を進めていきます。
- 学期ごとに教科書の内容と関連させたパフォーマンス課題を設定し、個人あるいはグループで課題に取り組んでもらいます。学習した内容がベースとなるので、日々の授業を大切に、積極的に取り組みましょう。
- 学びの基礎診断を各学期の評価に組み込みます。
- 「新課程版 Let's Start! 」を橋渡し教材として使用し、基礎的な語彙や文法力の確認に活用します。
- 「英語総合問題集 TREASURE HUNT 0」及び「英語総合問題演習 WIDE ANGLE 1」を週課題、及び長期休業中の課題として使用します。
- 「書き込み式ノート 英単語ターゲット 1200 Workbook①②③」を活用し、「書くこと」を通して確実に基礎単語力を育成します。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現 I	単位数	3単位
		学年等	1年生普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>外国語による話すこと(やり取り・発表)、書くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について外国語で適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：Vision Quest English Logic and Expression I Standard (啓林館)</p> <p>副教材：Vision Quest Standard WORKBOOK (啓林館)</p> <p>Vision Quest 総合英語 (啓林館)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	コミュニケーションで必要な習得すべき知識や重要な概念を理解し、それらを既習の知識や技能と効果的に関連付け、実際のコミュニケーションの場面で活用できる技能を身に付けている。	具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する力を身に付けている。	知識・技能の習得に粘り強く取り組み、実際のコミュニケーション活動においては、情報や自分自身の考えを表現し、伝え合うことに主体的に関わり、課題や日々の授業の振り返りを通じて、自らの学習を深化させようとしている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	Lesson 1 Let's have fun together! Lesson 2 Do you have any ideas for the class recreation? Lesson 3 What did you do last weekend? Lesson 4 Have you ever played the guitar before?	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・学習課題
	300点	100点	100点	100点
2 学期	Lesson 5 I'm interested in becoming a tour guide. Lesson 6 I went to the new cafe yesterday.	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・学習課題

	Lesson 7 Thank you for your support during my stay. Lesson 8 What do you do to stay healthy? Lesson 9 Have you seen any interesting videos recently?			
	300点	100点	100点	100点
3 学 期	Lesson 10 It's a city where you can enjoy many kinds of food. Lesson 11 I believe that poverty is the biggest problem in the world. Lesson 12 Climate change has been causing serious problems.	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課 題	・小テスト ・パフォーマンス課 題 ・学習課題
	150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	Lesson 1 Let's have fun together! <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> 文法 文の種類 話題 紹介 </div> <div> 機能 原因・理由を述べる 表現 話す[発表・やり取り] / 書く </div> </div>	8
	5	Lesson 2 Do you have any ideas for the class recreation? <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> 文法 文型と動詞 話題 学校生活 </div> <div> 機能 意見を述べる / 賛成・反対する 表現 話す[発表・やり取り] / 書く </div> </div> <p style="text-align: right;">1. 学期中間考査</p>	9
	6	Lesson 3 What did you do last weekend? <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> 文法 時制 話題 旅行・観光 </div> <div> 機能 計画する・予定する 表現 話す[発表・やり取り] / 書く </div> </div> <p style="text-align: right;">パフォーマンス課題 1</p>	9
	7	Lesson 4 Have you ever played the guitar before? <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> 文法 完了形 話題 趣味・関心 </div> <div> 機能 経験をたずねる・述べる 表現 話す[発表・やり取り] / 書く </div> </div> <p style="text-align: right;">1. 学期期末考査</p>	9

2 学 期	8	Lesson 5 I'm interested in becoming a tour guide. <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>文法 助動詞</p> <p>話題 将来・進路</p> </div> <div> <p>機能 許可を求める・依頼する</p> <p>表現 話す[発表・やり取り] / 書く</p> </div> </div>	8
	9	Lesson 6 I went to the new cafe yesterday. <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>文法 受動態</p> <p>話題 日常生活</p> </div> <div> <p>機能 喜び・驚きを表す</p> <p>表現 話す[発表・やり取り] / 書く</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">.....2学期中間考査</p>	9
	10	Lesson 7 Thank you for your support during my stay. <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>文法 不定詞</p> <p>話題 交流・交際</p> </div> <div> <p>機能 感謝する・謝罪する</p> <p>表現 話す[発表・やり取り] / 書く</p> </div> </div>	9
	11	Lesson 8 What do you do to stay healthy? <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>文法 動名詞</p> <p>話題 スポーツ・健康</p> </div> <div> <p>機能 誘う・申し出る・提案する</p> <p>表現 話す[発表・やり取り] / 書く</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">パフォーマンス課題2</p>	9
	12	Lesson 9 Have you seen any interesting videos recently? <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>文法 分詞</p> <p>話題 メディア・コミュニケーション</p> </div> <div> <p>機能 判断の根拠を述べる</p> <p>表現 話す[発表・やり取り] / 書く</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">.....2学期期末考査</p>	9
3 学 期	1	Lesson 10 It's a city where you can enjoy many kinds of food. <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>文法 関係詞</p> <p>話題 文化・異文化理解</p> </div> <div> <p>機能 定義する・言いかえる</p> <p>表現 話す[発表・やり取り] / 書く</p> </div> </div>	8
	2	Lesson 11 I believe that poverty is the biggest problem in the world. <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>文法 比較</p> <p>話題 国際問題</p> </div> <div> <p>機能 比較する・分析する</p> <p>表現 話す[発表・やり取り] / 書く</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">パフォーマンス課題3</p>	9
	3	Lesson 12 Climate change has been causing serious problems. <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>文法 仮定法</p> <p>話題 社会問題</p> </div> <div> <p>機能 助言する・願望を表す</p> <p>表現 話す[発表・やり取り] / 書く</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">.....学年末考査</p>	9

5 その他

- 論理・表現 I の授業の1単位は ALT との英会話の授業になります。
- パフォーマンス課題の一部は ICT 機器を活用して行います。
- 表現活動の基礎となる文法や語法の理解に努め、演習を繰り返すことで確実に定着させていきましょう。
- 論理・表現 I の授業では、自分の考えを話す・書くといった表現活動を中心に行います。相手に伝える力を育むためにも、間違いを恐れず主体的に取り組みましょう。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現 I	単位数	2単位
		学年等	1年生体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>外国語による話すこと(やり取り・発表)、書くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について外国語で適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：Vision Quest English Logic and Expression I Standard (啓林館)</p> <p>副教材：Vision Quest Standard WORKBOOK (啓林館)</p> <p>Vision Quest 総合英語 (啓林館)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	コミュニケーションで必要な習得すべき知識や重要な概念を理解し、それらを既習の知識や技能と効果的に関連付け、実際のコミュニケーションの場面で活用できる技能を身に付けている。	具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する力を身に付けている。	知識・技能の習得に粘り強く取り組み、実際のコミュニケーション活動においては、情報や自分自身の考えを表現し、伝え合うことに主体的に関わり、課題や日々の授業の振り返りを通じて、自らの学習を深化させようとしている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	Lesson 1 Let's have fun together! Lesson 2 Do you have any ideas for the class recreation? Lesson 3 What did you do last weekend? Lesson 4 Have you ever played the guitar before?	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・学習課題
	300点	100点	100点	100点
2 学期	Lesson 5 I'm interested in becoming a tour guide. Lesson 6 I went to the new cafe yesterday.	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・小テスト ・パフォーマンス課題 ・学習課題

	Lesson 7 Thank you for your support during my stay. Lesson 8 What do you do to stay healthy? Lesson 9 Have you seen any interesting videos recently?			
	300点	100点	100点	100点
3 学 期	Lesson 10 It's a city where you can enjoy many kinds of food. Lesson 11 I believe that poverty is the biggest problem in the world. Lesson 12 Climate change has been causing serious problems.	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス課 題	・小テスト ・パフォーマンス課 題 ・学習課題
	150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	Lesson 1 Let's have fun together! <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>文法 文の種類</p> <p>話題 紹介</p> </div> <div> <p>機能 原因・理由を述べる</p> <p>表現 話す[発表・やり取り] / 書く</p> </div> </div>	8
	5	Lesson 2 Do you have any ideas for the class recreation? <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>文法 文型と動詞</p> <p>話題 学校生活</p> </div> <div> <p>機能 意見を述べる / 賛成・反対する</p> <p>表現 話す[発表・やり取り] / 書く</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">1. 学期中間考査</p>	9
	6	Lesson 3 What did you do last weekend? <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>文法 時制</p> <p>話題 旅行・観光</p> </div> <div> <p>機能 計画する・予定する</p> <p>表現 話す[発表・やり取り] / 書く</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">パフォーマンス課題 1</p>	9
	7	Lesson 4 Have you ever played the guitar before? <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>文法 完了形</p> <p>話題 趣味・関心</p> </div> <div> <p>機能 経験をたずねる・述べる</p> <p>表現 話す[発表・やり取り] / 書く</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">1. 学期期末考査</p>	9

2 学 期	8	Lesson 5 I'm interested in becoming a tour guide. <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文法</div> 助動詞 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">機能</div> 許可を求める・依頼する </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">話題</div> 将来・進路 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表現</div> 話す[発表・やり取り] / 書く </div>	8
	9	Lesson 6 I went to the new cafe yesterday. <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文法</div> 受動態 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">機能</div> 喜び・驚きを表す </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">話題</div> 日常生活 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表現</div> 話す[発表・やり取り] / 書く </div>	9
2学期中間考査		
	10	Lesson 7 Thank you for your support during my stay. <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文法</div> 不定詞 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">機能</div> 感謝する・謝罪する </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">話題</div> 交流・交際 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表現</div> 話す[発表・やり取り] / 書く </div>	9
	11	Lesson 8 What do you do to stay healthy? <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文法</div> 動名詞 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">機能</div> 誘う・申し出る・提案する </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">話題</div> スポーツ・健康 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表現</div> 話す[発表・やり取り] / 書く </div>	9
12	Lesson 9 Have you seen any interesting videos recently? <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文法</div> 分詞 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">機能</div> 判断の根拠を述べる </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">話題</div> メディア・コミュニケーション <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表現</div> 話す[発表・やり取り] / 書く </div>	9	
.....2学期期末考査			
3 学 期	1	Lesson 10 It's a city where you can enjoy many kinds of food. <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文法</div> 関係詞 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">機能</div> 定義する・言いかえる </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">話題</div> 文化・異文化理解 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表現</div> 話す[発表・やり取り] / 書く </div>	8
	2	Lesson 11 I believe that poverty is the biggest problem in the world. <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文法</div> 比較 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">機能</div> 比較する・分析する </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">話題</div> 国際問題 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表現</div> 話す[発表・やり取り] / 書く </div>	9
	3	Lesson 12 Climate change has been causing serious problems. <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文法</div> 仮定法 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">機能</div> 助言する・願望を表す </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">話題</div> 社会問題 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表現</div> 話す[発表・やり取り] / 書く </div>	9
.....学年末考査			

5 その他

- パフォーマンス課題の一部は ICT 機器を活用して行います。
- 表現活動の基礎となる文法や語法の理解に努め、演習を繰り返すことで確実に定着させていきましょう。
- 論理・表現 I の授業では、自分の考えを話す・書くといった表現活動を中心に行います。相手に伝える力を育むためにも、間違いを恐れず主体的に取り組みましょう。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4単位
		学年等	2年生全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くことの5つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。
使用教科書副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書:BIG DIPPER English Communication II (数研出版) ・副教材:BIG DIPPER English Communication II ベーシックノート(数研出版) 英単語ターゲット 1900(旺文社) ALL EARS STANDARD(美誠社) Wonderland 3rd Edition 2(いっずな書店) Wonderland 3rd Edition 2.5(いっずな書店) Applause 3訂版 Vol.3 ※普通科のみ使用 共通テスト 英語 リスニングオリジナル問題集 TOUCH10(桐原書店) ※フロンティア用 共通テスト 英語 リーディングオリジナル問題集 TACTICS10(桐原書店) ※フロンティア用

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、多様な知識と教養を身につけ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、外国語で日常的な話題や社会的な話題について情報や考えなどの概要、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現し、伝え合ったりする力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、自他国の伝統・文化を尊重しつつ国際社会の平和と発展に寄与する態度を育み、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	Lesson 1 Why Don't You Come to School in Pajamas? Lesson 2 Is Seeing Believing? Lesson 3 Do You Get Enough Sleeping? Lesson 4 Do You Want to Speak English like a Native Speaker?	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・学びの基礎診断 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題テスト ・パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・パフォーマンステスト ・学習課題 ・授業態度
		300点	100点	100点
	Lesson 5 Universal Design: Convenient for All	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・パフォーマンステスト

2 学 期	Lesson 6 Wakamiya Masako: The World's Oldest Game App Developer Lesson 7 Learning from Nature Lesson 8 The Wisdom of Preserving Food	・学びの基礎診断	・パフォーマンステスト	スト ・学習課題 ・授業態度
	300点	100点	100点	100点
3 学 期	Lesson 9 The Sharing Economy: Something for Everyone? Lesson 10 Sand and Concrete: A Basis of Our Life	・定期考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・課題テスト ・パフォーマンステスト	・小テスト ・パフォーマンステスト ・学習課題 ・授業態度
	150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
1 学 期	4	Lesson1 Why Don't You Come to School in Pajamas? (活動) アメリカの学校行事に関する英文を読み、自分の学校の行事の目的について話し合うことができる。 (文法) 受動態、助動詞+受動態、to 不定詞の使い方を復習する。	12	
	5	Lesson2 Is Seeing Believing? (活動) だまし絵に関する英文を読み、活用の仕方について理解して、だまし絵の面白さについて話し合うことができる。 (文法) 関係代名詞、疑問詞節を目的語にとる文、現在完了形や過去完了形の文構造について理解する。	12	
			1学期中間考査	4
	6	Lesson 3 Do You Get Enough Sleeping? (活動) 睡眠に関する英文を読み、睡眠の重要性やよい睡眠を促す商品について知り、自分の睡眠時間について話し合うことができる。 (文法) 仮定法過去、関係代名詞 what、関係副詞 when・where の使い方を復習する。	12	
	7	Lesson 4 Do You Want to Speak English like a Native Speaker? (活動) 英語学習に関するエミとタイの留学生 Kiet の対話を読んだり、ELF についての記事を読んで概念について理解したりして、将来就きたい職業やその時の英語の必要性について話し合うことができる。 (文法) 補足的な説明を加える関係代名詞、目的語として働く that 節の文構造について理解し、関係副詞 why の使い方について復習する。	12	
			パフォーマンス課題1 1学期期末考査	4
			学びの基礎診断	

2 学 期	8	Lesson5 Lesson 5 Universal Design: Convenient for All (活動) 英文を読んでユニバーサルデザインについて理解し、あったらいいと思うピクトグラムについて話し合うことができる。 (文法) 分詞構文を復習し、進行形の受動態、場所を補足的に説明する文、形式主語 it の構文の文構造について理解する。	12	
	9	Lesson 6 Wakamiya Masako: The World's Oldest Game App Developer (活動) 若宮正子さんに関する英語の記事を読み活動を理解し、新しいことを積極的に始められるタイプかどうかについて話し合うことができる。 (文法) 補語として働く分詞、受動態の分詞構文、過去のことを推量・後悔・非難する文について	12	
	10	文構造を理解する。 2学期中間考査	4	
	----- 学びの基礎診断			
	11	Lesson 7 Learning from Nature (活動) 生物模倣によってできたものについての英文を読み、飛行機が何を参考に考案されたのかを理解し、生物をヒントにどのような製品ができるかについて話し合うことができる。 (文法) S+V の省略、動名詞の意味上の主語、未来進行形、完了形の不定詞について確認する。	12	
3 学 期	12	Lesson 8 The Wisdom of Preserving Food (活動) 保存食について紹介された英文を読み、レシピ特有の表現を理解し、外国の人に日本のだしを使った料理について紹介できる。 (文法) 仮定法過去完了、仮定法を使った重要表現を用いた文構造について理解する。 パフォーマンス課題2 2学期期末考査	12 4	
	1	学びの基礎診断 Lesson 9 The Sharing Economy: Something for Everyone? (活動) 英文を読んでシェアリングエコノミーのメリット、デメリットについて理解し、ファッションシェアリングについて知り、自分たちがもっと利用すべきかについて話し合うことができる。 (文法) 未来完了、無生物主語、補語として働く that 節の文構造について理解する。	12	
	3	Lesson 10 Sand and Concrete: A Basis of Our Life (活動) コンクリート建造物についての英文や新聞記事を読み、シンガポールが抱える問題について理解し、コンクリートを使って何を作りたいか話し合うことができる。 (文法) 補足的な説明を加える関係副詞、複合関係代名詞、倒置について文構造を理解する。 パフォーマンス課題3 学年末考査	12 4	

5 その他

- 学期ごとにパフォーマンス課題を設定し、個人あるいはグループで課題に取り組んでもらいます。
- パフォーマンス課題の一部は ICT 機器を活用して行います。
- 授業では、ペア学習やグループ学習を取り入れ、様々な意見や考えに触れながら、「聞く力」、「話す力」、「読む力」、「書く力」をバランスよく育成します。日々の授業を大切に、積極的に取り組みましょう。
- 体育コースでは、週1時間 ALT との授業を行います。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現Ⅱ	単位数	2単位
		学年等	2年生全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>「論理・表現Ⅰ」で培った基礎的な発信力と論理的構成の初歩的な活用力を踏まえ、より多様な語句や文を使い、日常的・社会的な話題について、論理の構成や展開を工夫しながら英語で表現し伝え合う力を育成する。</p> <p>(1)多様な語句や文を適切に用い、聞いたり読んだりした情報を活用しながら、自らの意見や主張を理由や根拠とともに一貫した構成で表現できるようにする。</p> <p>(2)スピーチやプレゼンテーションなどの発信型言語活動において、考えを整理し相手の立場を理解しながら、協調的にやり取りを行う力を高める。</p> <p>(3)複数の段落からなる文章を書く技能を伸ばし、論理の構成や展開を工夫した文章で自らの考えを明確に発信できるようにする。</p> <p>その過程で、英語の特徴やきまりに関する知識を活用し、聞き手・読み手に配慮しながら主体的かつ自律的に英語でのコミュニケーションを図ろうとする態度を育む。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：Vision Quest English Logic and Expression II Hope (啓林館)</p> <p>副教材：Vision Quest 論理・表現Ⅱ Hope ワークブック (啓林館)</p> <p>Bright Stage 英文法・語法問題 (桐原書店)</p> <p>Vision Quest 総合英語 (啓林館)</p> <p>Steady Steps to Writing 和文分析から始める英作文 (数研出版)※フロンティア用</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	Lesson 1 What is your future goal?	・定期考査	・定期考査	・小テスト
	Lesson 2 What school events do you have?	・課題考査	・パフォーマンステスト	・パフォーマンステスト
1 学 期	Lesson 3 Who is the best athlete?	・小テスト		・学習課題
	Lesson 4 Is social media safe?	・学びの基礎診断		・スタディーサプリ
	300点	100点	100点	100点
2 学 期	Lesson 5 How does overusing energy affect us?	・定期考査	・定期考査	・小テスト
	Lesson 6 What are some culture differences?	・課題考査	・パフォーマンステスト	・パフォーマンステスト
		・小テスト		・学習課題
		・学びの基礎診断		

	Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English? Lesson 8 Is Japan open enough? Lesson 9 What if you were rich?			・スタディーサプリ
	300点	100点	100点	100点
3 学 期	Lesson 10 How might AI affect our lives? Lesson 11 What is a healthy life? Lesson 12 What is important when we sell chocolate?	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンステスト	・小テスト ・パフォーマンステスト ・学習課題 ・スタディーサプリ
	150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	Lesson 1 What is your future goal? 【Grammar】適切な主語を用いる(名詞句・形式主語) 【Activity】 自分の目標と達成のために必要なことについて、文と文のつながりを意識して伝える	5
	5	Lesson 2 What school events do you have? 【Grammar】適切な動詞を用いる(自動詞・他動詞・群動詞) 【Activity】 留学生のために開催するイベントについて話し合った内容をまとめる 1学期中間考査	6
	6	Lesson 3 Who is the best athlete? 【Grammar】時を表す(現在・過去・未来) 【Activity】 好きなアスリートと業績について、パラグラフの構成に意識して詳しく伝える	6
	7	Lesson 4 Is social media safe? 【Grammar】義務・必要・推量を表す助動詞 【Activity】 高校生のソーシャルメディアの使用について、パラグラフの構成に意識して、自分の意見や主張を伝える パフォーマンス課題 1学期期末考査	6 1

2 学 期		Lesson 5 How does overusing energy affect us? 【Grammar】形容詞・分詞・前置詞句や不定詞による名詞の修飾 【Activity】 環境問題の原因とその影響について情報を整理し、関心のある環境問題に対する意見や主張を伝える	6
	8	Lesson 6 What are some culture differences? 【Grammar】 関係代名詞・関係副詞 【Activity】 外国人観光客が最も訪れる日本の場所について、情報を調べてまとめ、自身の主張や理由の根拠を詳しく伝える	6
	9		
		Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English? 【Grammar】形容詞・分詞・前置詞句や不定詞による名詞の修飾 【Activity】 日本の第二公用語としての英語の導入の賛否に関する記事を読んで、文章全体の概要と構成を理解し、まとめる	6
	10		2 学期中間考査
		Lesson 8 Is Japan open enough? 【Grammar】直接話法・間接話法 【Activity】 2 つの異なる働き方についての話を聞いて、全体の概要と構成を理解し、まとめる	4
	11	Lesson 9 What if you were rich? 【Grammar】条件・仮定 【Activity】 宝くじが当たり、大金を手にしたらという仮定の状況を想定し、自分の考えや主張をまとめたり、クラスメートと話して伝え合う	6
	12		パフォーマンス課題 2 学期期末考査

3 学 期	1	Lesson 10 How might AI affect our lives? 【Grammar】可算名詞と不可算名詞の使い分け・数量を表す表現 【Activity】 AI との生活で大切な事について、自分の考えやその根拠を示す情報を調べるなどして、相手に伝える	4
	2	Lesson 11 What is a healthy life? 【Grammar】原級比較・比較級・最上級を表す表現 【Activity】 「10 代の若者は 8～9 時間の睡眠が必要だ」という議題について、賛否の意見を考え、まとめる	6
	3	Lesson 12 What is important when we sell chocolate? 【Grammar】否定を含む語や部分否定、準否定などの否定を表す表現 【Activity】 チョコレートの売り上げを伸ばすために重要なことについて、自分の意見や主張を考え、根拠となる資料を示しながら、グループで話して伝え合う	6
			パフォーマンス課題 学年末考査

5 その他

- パフォーマンス課題は英語コミュニケーションⅡの課題またはパフォーマンステストと合同で実施し、それぞれの特性から評価します。
- 授業やパフォーマンス課題の一部は ICT 機器を活用して行います。
- 表現活動の基礎を支える文法や語法の理解に努め、演習を繰り返す中で定着できるように励んでください。
- 論理・表現Ⅱの授業では、自分の意見を話したり、書いたりして相手に伝えたり、発表したりする表現活動を中心に行います。間違いを恐れずに、主体的に取り組んでください。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4単位
		学年等	3年生普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1. 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。</p> <p>2. 日常的な話題や社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても必要な情報を聞き取ったり読み取ったりして話の展開や意図を把握することができる。</p> <p>3. 聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的・場面・状況などに応じて適切に用いて、論理的に詳しく伝えることができる。</p> <p>4. 言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>・教科書:「MY WAY English CommunicationⅢ」(三省堂)</p> <p>・副教材:「MY WAY English CommunicationⅢ WORKBOOK STANDARD」(三省堂)</p> <p>「英単語ターゲット 1900」(旺文社)</p> <p>「共通テストリスニング分野別 10 min. 3rd Edition」(EMILE)</p> <p>「共通テストリスニング実戦 30 min.」(EMILE)</p> <p>「共通テスト英語リーディングオリジナル問題集 TACTICS 10 2nd Edition」(桐原書店)</p> <p>「共通テスト対策実力完成直前演習 英語リーディング」(進研学参)</p> <p>「CROSSBEAM Standard 1 英語総合問題集 標準編1」(EMILE)</p> <p>「大学入学共通テストリーディング分野別 10 min.」(EMILE) (フロンティアクラス用)</p> <p>「共通テストリスニング対策 CLOSE-UP LISTENING」(啓隆社)(フロンティアクラス用)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</p> <p>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的・場面・状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	<p>Strategy for Listening & Reading 1</p> <p>Strategy for Listening & Reading 2</p> <p>Strategy for Listening & Reading 3</p> <p>Strategy for Listening & Reading 4</p> <p>Strategy for Listening & Reading 5</p> <p>Strategy for Listening & Reading 6</p>	<p>・定期考査</p> <p>・課題考査</p> <p>・小テスト</p>	<p>・定期考査</p> <p>・パフォーマンステスト</p>	<p>・定期考査</p> <p>・小テスト</p> <p>・パフォーマンステスト</p> <p>・学習課題</p>

	Strategy for Listening & Reading 7 Strategy for Listening & Reading 8 Lesson 1: “Priceless” Café, “Priceless” Community Lesson 2: Nihonium – A New Element Born in Japan Lesson 3: Tea in the Desert Climate Lesson 4: The Benefits of Origami			
	評価点 300点	100点	100点	100点
2 学 期	Lesson 5: The Mysteries of English Spelling Lesson 6: New Discovery in the Nasca Lines Lesson 7: Today’s Trash is Tomorrow’s Treasure Lesson 8: Nap Time at School Lesson 9: Dog Tax Lesson 10: Space Development Reading 1: Anne of Green Gables	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス テスト	・定期考査 ・小テスト ・パフォーマンス テスト ・学習課題
	評価点 300点	100点	100点	100点
3 学 期	Reading 2: Rules are Rules?	・課題考査 ・小テスト	・課題考査 ・パフォーマンス課 題	・小テスト ・パフォーマンス課 題
	評価点 150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	Strategy for Listening & Reading 1 必要な情報を読み取る Strategy for Listening & Reading 2 意味のまとまりごとに理解する Strategy for Listening & Reading 3 キーワードや内容語から概要を把握する Strategy for Listening & Reading 4 視覚情報を利用して読み取る Strategy for Listening & Reading 5 論理展開を把握する(列挙・例示) Strategy for Listening & Reading 6 論理展開を把握する(原因・結果)	14
	5	Strategy for Listening & Reading 7 要点を理解する Strategy for Listening & Reading 8 筆者の意図を推測する 春課題考査 1学期中間考査	13
	6	Lesson 1 “Priceless” Café, “Priceless” Community (内容)「値段のないカフェ」について新聞記事を読む (活動)値段が設定されていないものを買うことの利点・欠点を話し合う	16

		(活動) 試行錯誤を繰り返すことの利点を話し合う Lesson 3 Tea in the Desert Climate (内容) 中東やアフリカでお茶が多く読まれる理由を理解する (活動) お茶を飲むことの利点を話し合う		
	7	Lesson 4 The Benefits of Origami (内容) 折り紙の効果について理解する (活動) 趣味がもたらす効果について話し合う		10
			パフォーマンステスト1 1学期期末考査	
	8	Lesson 5 The Mysteries of English Spelling	夏課題考査	4
	9	(内容) 英語のつづりの特徴について理解する (活動) 英語のつづりや新しい表記について話し合う		17
		Lesson 6 New Discovery in the Nasca Lines (内容) ナスカの地上絵研究とAIの活用について理解する (活動) 日常生活でAIに期待することについて話し合う		
	10	Lesson 7 Today's Trash is Tomorrow's Treasure (内容) アイサト・シーセイさんのアップサイクル活動について理解する (活動) どのようなアップサイクル製品に興味があるか話し合う		18
2 学 期			2学期中間考査	
		Lesson 8 Nap Time at School (内容) 学校に昼寝の時間を導入することの是非について理解する (活動) 学校に関する話題について討論する		
	11	Lesson 9 Dog Tax (内容) 犬税を導入することの是非について理解する (活動) 動物に関する話題について討論する。		17
		Lesson 10 Space Development (内容) 宇宙開発に関する事実と意見を理解する (活動) 宇宙に関する話題について討論する		
	12	Reading 1: Anne of Green Gables	パフォーマンステスト2 2学期期末考査	9
3 学 期	1	Reading 2: Rules are Rules?	冬課題考査	14
	2		パフォーマンステスト3	8

5 その他

- 授業では、ペア学習やグループ学習を通して様々な意見や考えに触れながら、英語4技能を育成します。日々の授業を大切に、積極的に参加しましょう。
- 英語力の向上には、できるだけ英語に触れることが必要です。授業を通して自分自身を分析し、取り組むべき課題を設定しましょう。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4単位
		学年等	3年生体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1. 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。</p> <p>2. 日常的な話題や社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても必要な情報を聞き取ったり読み取ったりして話の展開や意図を把握することができる。</p> <p>3. 聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的・場面・状況などに応じて適切に用いて、論理的に詳しく伝えることができる。</p> <p>4. 言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。</p>
使用教科書 副教材等	<p>・教科書:「MY WAY English CommunicationⅢ」(三省堂)</p> <p>・副教材:「MY WAY English CommunicationⅢ WORKBOOK STANDARD」(三省堂)</p> <p>「英単語ターゲット 1900」(旺文社)</p> <p>「共通テストリスニング分野別 10 min. 3rd Edition」(EMILE)</p> <p>「共通テスト英語リーディングオリジナル問題集 TACTICS 10 2nd Edition」(桐原書店)</p> <p>「CROSSBEAM Standard 1 英語総合問題集 標準編1」(EMILE)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</p> <p>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的・場面・状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	<p>Strategy for Listening & Reading 1</p> <p>Strategy for Listening & Reading 2</p> <p>Strategy for Listening & Reading 3</p> <p>Strategy for Listening & Reading 4</p> <p>Strategy for Listening & Reading 5</p> <p>Strategy for Listening & Reading 6</p> <p>Strategy for Listening & Reading 7</p> <p>Strategy for Listening & Reading 8</p> <p>Lesson 1: “Priceless” Café, “Priceless” Community</p>	<p>・定期考査</p> <p>・課題考査</p> <p>・小テスト</p>	<p>・定期考査</p> <p>・パフォーマンステスト</p>	<p>・定期考査</p> <p>・小テスト</p> <p>・パフォーマンステスト</p> <p>・学習課題</p>

	Lesson 2: Nihonium – A New Element Born in Japan Lesson 3: Tea in the Desert Climate Lesson 4: The Benefits of Origami			
	評価点 300点	100点	100点	100点
2 学 期	Lesson 5: The Mysteries of English Spelling Lesson 6: New Discovery in the Nasca Lines Lesson 7: Today's Trash is Tomorrow's Treasure Lesson 8: Nap Time at School Lesson 9: Dog Tax Lesson 10: Space Development Reading 1: Anne of Green Gables	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンステスト	・定期考査 ・小テスト ・パフォーマンステスト ・学習課題
	評価点 300点	100点	100点	100点
3 学 期	Reading 2: Rules are Rules?	・課題考査 ・小テスト	・課題考査 ・パフォーマンス課題	・小テスト ・パフォーマンス課題
	評価点 150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	春課題考査	14
		Strategy for Listening & Reading 1 必要な情報を読み取る	
		Strategy for Listening & Reading 2 意味のまとまりごとに理解する	
		Strategy for Listening & Reading 3 キーワードや内容語から概要を把握する	
	5	Strategy for Listening & Reading 4 視覚情報を利用して読み取る	13
		Strategy for Listening & Reading 5 論理展開を把握する(列挙・例示)	
6	Strategy for Listening & Reading 6 論理展開を把握する(原因・結果)	16	
	Strategy for Listening & Reading 7 要点を理解する		
	Strategy for Listening & Reading 8 筆者の意図を推測する		
		1学期中間考査	
		----- Lesson 1 “Priceless” Café, “Priceless” Community (内容)「値段のないカフェ」について新聞記事を読む (活動)値段が設定されていないものを買うことの利点・欠点を話し合う	
		Lesson 2 Nihonium – A New Element Born in Japan (内容)ニホニウムが発見された経緯を理解する (活動)試行錯誤を繰り返すことの利点を話し合う Lesson 3 Tea in the Desert Climate (内容)中東やアフリカでお茶が多く読まれる理由を理解する (活動)お茶を飲むことの利点を話し合う	
		パフォーマンステスト1	

	7	Lesson 4 The Benefits of Origami (内容)折り紙の効果について理解する (活動)趣味がもたらす効果について話し合う	1学期期末考査	10
2 学 期	8	Lesson 5 The Mysteries of English Spelling (内容)英語のつづりの特徴について理解する (活動)英語のつづりや新しい表記について話し合う	夏課題考査	4
	9	Lesson 6 New Discovery in the Nasca Lines (内容)ナスカの地上絵研究とAIの活用について理解する (活動)日常生活でAIに期待することについて話し合う		17
	10	Lesson 7 Today's Trash is Tomorrow's Treasure (内容)アイサト・シーセイさんのアップサイクル活動について理解する (活動)どのようなアップサイクル製品に興味があるか話し合う		18
		Lesson 8 Nap Time at School (内容)学校に昼寝の時間を導入することの是非について理解する (活動)学校に関する話題について討論する	2学期中間考査	
	11	Lesson 9 Dog Tax (内容)犬税を導入することの是非について理解する (活動)動物に関する話題について討論する。 Lesson 10 Space Development (内容)宇宙開発に関する事実と意見を理解する (活動)宇宙に関する話題について討論する		17
	12	Reading 1: Anne of Green Gables	パフォーマンステスト2 2学期期末考査	9
3 学 期	1	Reading 2: Rules are Rules?	冬課題考査	14
	2		パフォーマンステスト3	8

5 その他

○授業では、ペア学習やグループ学習を通して様々な意見や考えに触れながら、英語4技能を育成します。日々の授業を大切に、積極的に参加しましょう。

○英語力の向上には、できるだけ英語に触れることが必要です。授業を通して自分自身を分析し、取り組むべき課題を設定しましょう。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現Ⅲ	単位数	2単位
		学年等	3年生全

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>外国語による話すこと(やり取り・発表)、書くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、支援をほとんど活用しなくても、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について複数の資料を活用しながら論理の構成や展開を工夫して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：English Logic and Expression Ⅲ be Clear(いっずな書店)</p> <p>副教材：be Clear English Logic and Expression II Essential Grammar Book(いっずな書店)</p> <p>総合英語 be 4th Edition(いっずな書店)</p> <p>Bright Stage 英文法・語法問題(桐原書店)</p> <p>総合英語 be English Grammar Workbook 30(いっずな書店)</p> <p>精選演習 英文法・語法問題 600(いっずな書店)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	習得すべき文法や語法を知識として理解し、その知識を実際の活用場面で技能として使用している。	課題を解決したり、自らの考えを伝えたりするために必要な知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を用いて適切なコミュニケーションをとっている。	知識及び技能を基に、思考力、判断力、表現力等を用いてコミュニケーションをとるための粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	Lesson 1 A City Worth Visiting Lesson 2 Our Hometowns Lesson 3 What Makes a City Attractive? Lesson 4 How Do You Spend Your Time?	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス テスト	・定期考査 ・小テスト ・パフォーマンス テスト ・学習課題
	300点	100点	100点	100点
2 学 期	Lesson 5 Trying Something New Lesson 6 The Art of Translation Lesson 7 Combatting Climate	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンス テスト	・定期考査 ・小テスト ・パフォーマンス テスト

	Change Lesson 8 Future Energy Sources Lesson 9 Discussing the Environment			スト ・学習課題
	300点	100点	100点	100点
3 学 期	Lesson 10 Globalization and Immigration Lesson 11 What is Fair Trade? Lesson 12 Helping to Fight Poverty	・課題考査 ・小テスト	・課題考査 ・パフォーマンス課題	・パフォーマンス課題
	150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
1 学 期	4	Lesson 1 A City Worth Visiting 【Grammar】受動態を適切に使う 【Activity】自分が住む場所について説明する	5	
	5	Lesson 2 Our Hometowns 【Grammar】動詞の形を意識する 【Activity】ある街のデータを分析し、数値の増減や変化を描写する	6	
	1学期中間考査			
	6	Lesson 3 What Makes a City Attractive? 【Grammar】話し手がどう思っているかを助動詞で表す 【Activity】自分の住む街の問題点を明らかにし、解決に向けての提案とその効果を書く	6	
	7	Lesson 4 How Do You Spend Your Time? 【Grammar】何と何を比べているのか意識する 【Activity】スポーツと音楽の利点を比較し、自分の意見を表現する	6	
	パフォーマンス課題1			
	1学期期末考査			
2 学 期	8	Lesson 5 Trying Something New	5	
	9	【Grammar】比較級の前で差の程度を示す 【Activity】2つのものの共通点と相違点を整理し書く		
	10	Lesson 6 The Art of Translation 【Grammar】副詞や形容詞で程度を表す 【Activity】好きな本や映画について発表する	5	
	2学期中間考査			
	11	Lesson 7 Combatting Climate Change 【Grammar】関係代名詞を使って名詞に説明を加える 【Activity】気候変動の原因と影響を書く	6	
		Lesson 8 Future Energy Source 【Grammar】分詞で名詞に説明を加える 【Activity】1つのエネルギー源についてその利点と欠点を考え、推進方法を説明する	6	
	12	Lesson 9 Discussing the Environment 【Grammar】不定詞で名詞に説明を加える	6	

		<p>【Activity】環境問題解決のために自分にできることを表現する</p> <p style="text-align: right;">パフォーマンス課題2</p> <p style="text-align: right;">2 学期期末考査</p>	
3 学 期	1	<p style="text-align: right;">冬課題考査</p> <p>Lesson 10 Globalization and Immigration</p> <p>【Grammar】不定詞で「～すること」を表す</p> <p>【Activity】移民の受け入れについて賛成・反対を論理的に表現できる</p>	6
	2	<p>Lesson 11 What is Fair Trade?</p> <p>【Grammar】動名詞で「～すること」を表す</p> <p>【Activity】フェアトレード商品の購入について賛成・反対を論理的に表現できる</p> <p>Lesson 12 Helping to Fight Poverty</p> <p>【Grammar】不定詞に副詞のはたらきをさせる</p> <p>【Activity】ボランティア活動について考え、活動への志願書を書く</p> <p style="text-align: right;">パフォーマンス課題3</p>	7

5 その他

- 表現活動の基礎を支える文法や語法の理解に努め、演習を繰り返す中で定着できるように励んでください。
- 論理・表現Ⅲの授業では、自分の意見を話したり、書いたりして相手に伝えたり、発表したりする表現活動を中心に行います。間違いを恐れずに、主体的に取り組んでください。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	実践英語	単位数	2単位
		学年等	3年生文型・クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>実際のコミュニケーションを行うにあたり必要な英語4技能(Listening、Reading、Writing、Speaking)の基礎・基本を確立させ、情報を整理しながら自らの考えを相手に論理的に適切な英語で伝えるために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解し、適切に表現したりする力を養う。</p> <p>(3)異文化に対する理解を深め、コミュニケーションを行う相手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いて意思疎通を図ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書:「MY WAY English Communicaiton II」(三省堂)</p> <p>副教材:Interactive 4 skills ① CFER A2 LEVEL (旺文社)</p> <p>英単語ターゲット 1900(旺文社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	<p>具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する力を身に付けている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	Interactive 4 skills Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・学習課題 ・授業観察
	Interactive 4 skills Lesson 2			
	Interactive 4 skills Lesson 3			
	Interactive 4 skills Lesson 4			
	Interactive 4 skills Lesson 5			
	300点	100点	100点	100点
2 学期	Interactive 4 skills Lesson 6	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・学習課題
	Interactive 4 skills Lesson 7			
	Interactive 4 skills Lesson 8			
	MY WAYII Lesson 6 Murals			

	MY WAYII Reading② Interactive 4 skills Lesson 9			・授業観察
	300点	100点	100点	100点
3 学 期	Interactive 4 skills Lesson 10 MY WAYII Lesson 10	・まとめテスト	・まとめテスト	・まとめテスト ・パフォーマンス テスト ・授業観察
	150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	Interactive 4 skills Lesson 1 日常会話 【Listening】対話の応答文を選ぶ 【Reading】対話の空所を補充する 【Writing】アンケートに答える 【Speaking】自分についての質問に答える	4
		Interactive 4 skills Lesson 2 とある人物のできごと 【Listening】イラストを描写する文を選ぶ 【Reading】長文の空所を補充する 【Writing】メモやお知らせを書く 【Speaking】イラストの人物を描写する	4
	5	Interactive 4 skills Lesson 3 Eメール・電話 【Listening】対話や短い英文を聞き取る 【Reading】Eメールを読み取る	2
		1学期中間考査	1
		Interactive 4 skills Lesson 3 Eメール・電話 【Writing】Eメールを書く 【Speaking】留守番電話にメッセージを残す	2
	6	Interactive 4 skills Lesson 4 掲示・広告・アナウンス 【Listening】アナウンスを聞き取る 【Reading】掲示・広告を読み取る 【Writing】Eメールを書く 【Speaking】表の内容に関する質問に答える	4
		Interactive 4 skills Lesson 5 物語 【Listening】短い英文を聞き取る 【Reading】長文を読み取る 【Writing】写真を描写する 【Speaking】イラストの人物の状況を描写する	4
	7	パフォーマンス課題1	4
		1学期期末考査	1

2 学 期	8	Interactive 4 skills Lesson 6 社会問題 【Listening】 対話や短い英文を聞き取る 【Reading】要約文を選ぶ/長文の空所を補充する	2
	9	【Writing】 自分の意見を書く 【Speaking】 自分の意見を述べる	
		Interactive 4 skills Lesson 7 環境・自然・生物	4
		【Listening】 対話の応答文を選ぶ 【Reading】 長文を読み取る	
		【Writing】 自分の意見を書く 【Speaking】 イラストの人物を描写する	
	10	Interactive 4 skills Lesson 8 教育 【Listening】 イラストを描写する文を選ぶ 【Reading】 図表を読み取る/長文を読み取る	4
		【Writing】 自分の意見を書く 【Speaking】 ストーリーを説明する	
	MY WAY II Lesson6 Murals	6	
	11	2学期中間考査	
		MY WAY II Reading② Syria's Secret Library 物語文を読んで、状況を理解する	1
		Interactive 4 skills Lesson 9 科学・テクノロジー	6
	12	【Listening】 短い英文を聞き取る 【Reading】要約文を選ぶ/長文の空所を補充する	4
		【Writing】 自分の意見を書く 【Speaking】 自分の意見を述べる	
		パフォーマンス課題2	2
		2学期期末考査	1
3 学 期	1	まとめテスト	1
		Interactive 4 skills Lesson 10 歴史・文化 【Listening】 対話や短い英文を聞き取る 【Reading】 長文を読み取る	4
		【Writing】 自分の意見を書く 【Speaking】 自分の意見を述べる	
	2	MY WAY II Lesson10 Living in an E-Society-The Pros and Cons それぞれのトピックについて賛成派・反対派の役割を決めて、グループで話し合う。	7
		パフォーマンス課題3	2

5 その他

- 実践英語の授業では、英文を通じて知見を広げ、それらを正しく発信する力を養っていきます。授業に積極的に参加し、課題やテストにもしっかりと取り組みましょう。また、英語を使う場面では、間違いを恐れずに、積極的に言語活動に参加してください。受験生としての自覚ある取り組みを期待しています。
- ペア学習やグループ学習を取り入れ、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」を総合的に育成していきます。様々な意見や考えに触れながら協同的に学習を進めていきます。
- 学期ごとに教材の内容と関連させたパフォーマンス課題を設定し、個人あるいはグループで課題に取り組んでもらいます。学習した内容がベースとなるので、日々の授業を大切に、積極的に取り組みましょう。
- 授業中や学習課題の提出、あるいはパフォーマンステストにおいて、ICT 機器を活用していきます。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	家庭基礎	単位数	2単位
		学年等	1年生普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>家庭基礎 自立・共生・創造(東京書籍株式会社 家基 002-901)</p> <p>最新生活ハンドブック 資料&成分表&ICT(株式会社第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第3章 子どもと共に育つ 第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える	・定期考査 ・実技試験	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・ホームプロジェクト
	評価点	100点	100点	100点
2学期	第6章 食生活をつくる 第7章 衣生活をつくる 第8章 住生活をつくる	・定期考査 ・実技試験	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・ホームプロジェクト
	評価点	100点	100点	100点
3学期	第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む 第11章 これからの生活を創造する	・定期考査 ・実技試験	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・ホームプロジェクト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	家庭科の学び方 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	2
	5	第1章 生涯を見通す	2
		第2章 人生をつくる	5
	6	第3章 子どもと共に育つ 実技試験1 絵本の読み聞かせ パフォーマンス課題1 児童文化財の製作	9
	7	第4章 超高齢社会を共に生きる	5
		第5章 共に生き、共に支える	3
		ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ホームプロジェクト1 高齢者の防災	1
◇.....1学期期末考査			
2 学期	8	第6章 食生活をつくる	17
	9	パフォーマンス課題2 1日分の献立作成	
	10	第7章 衣生活をつくる	10
	11	実技試験2 裁縫の技能 ホームプロジェクト2 日本と世界の文化	
	12	第8章 住生活をつくる 実技試験3 平面計画	5
◇.....2学期期末考査			
3 学期	1	第9章 経済生活を営む ホームプロジェクト3 家計管理	8
	2	第10章 持続可能な生活を営む	2
	3	第11章 これからの生活を創造する パフォーマンス課題3 ライフプランの作成	1
◇.....学年末考査			

5 その他

<ul style="list-style-type: none"> ○ 講義は教室で授業を行います。実習時は特別教室(被服室・調理室)で行うこともあります。 ○ 特別教室を使用の際は、特別教室に掲示してある注意事項を守ってください。 ○ 調理実習時にはエプロン・三角巾・マスク・手拭きタオル、被服実習時には裁縫道具等、実習時に必要なものは別途指示をします。 ○ 授業に関する連絡は Google classroom を通じて行うことがありますので、確認をしてください。 ○ 講義及び実習において、ペア学習やグループ学習を行います。相手を尊重し、協力し、思いやりをもって授業に参加しましょう。 ○ 学期ごとにホームプロジェクトという探究活動を行います。家庭生活から課題を見つけ出し、それを解決するために SPDS のサイクルで生活を総合的に考え、問題を解決する能力や実践的な態度を養っていきましょう。
--

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	家庭基礎	単位数	2単位
		学年等	2年生体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(4) 生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(5) 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(6) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>家庭基礎 自立・共生・創造(東京書籍株式会社 家基 002-901)</p> <p>最新生活ハンドブック 資料&成分表&ICT(株式会社第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第3章 子どもと共に育つ 第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える	・定期考査 ・実技試験	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・ホームプロジェクト
	評価点	100点	100点	100点
2学期	第6章 食生活をつくる 第7章 衣生活をつくる 第8章 住生活をつくる	・定期考査 ・実技試験	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・ホームプロジェクト
	評価点	100点	100点	100点
3学期	第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む 第11章 これからの生活を創造する	・定期考査 ・実技試験	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・ワークシート ・ホームプロジェクト
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
1 学期	4	家庭科の学び方 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 第12章 生涯を見通す	2 2	
	5	第13章 人生をつくる	5	
	6	第14章 子どもと共に育つ 実技試験1 絵本の読み聞かせ パフォーマンス課題1 児童文化財の製作	9 1	
	7	第15章 超高齢社会を共に生きる 第16章 共に生き、共に支える ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ホームプロジェクト1 高齢者の防災	5 3 1	
	◇		1学期期末考査	
	2 学期	8	第17章 食生活をつくる	17
		9	パフォーマンス課題2 1日分の献立作成	
10		第18章 衣生活をつくる	10	
11		実技試験2 裁縫の技能 ホームプロジェクト2 日本と世界の文化		
12		第19章 住生活をつくる 実技試験3 平面計画	5	
◇		2学期期末考査		
3 学期	1	第20章 経済生活を営む ホームプロジェクト3 家計管理	8	
	2	第21章 持続可能な生活を営む	2	
	3	第22章 これからの生活を創造する パフォーマンス課題3 ライフプランの作成	1	
◇		学年末考査		

5 その他

<ul style="list-style-type: none"> ○ 講義は教室で授業を行います。実習時は特別教室(被服室・調理室)で行うこともあります。 ○ 特別教室を使用の際は、特別教室に掲示してある注意事項を守ってください。 ○ 調理実習時にはエプロン・三角巾・マスク・手拭きタオル、被服実習時には裁縫道具等、実習時に必要なものは別途指示をします。 ○ 授業に関する連絡は Google classroom を通じて行うことがありますので、確認をしてください。 ○ 講義及び実習において、ペア学習やグループ学習を行います。相手を尊重し、協力し、思いやりをもって授業に参加しましょう。 ○ 学期ごとにホームプロジェクトという探究活動を行います。家庭生活から課題を見つけ出し、それを解決するために SPDS のサイクルで生活を総合的に考え、問題を解決する能力や実践的な態度を養っていきましょう。
--

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	家庭演習	単位数	2単位
		学年等	3年生文型・クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生活を主体的に営むために必要な応用的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>家庭基礎 自立・共生・創造(東京書籍 家基 701)</p> <p>最新生活ハンドブック 資料&成分表&ICT(第一学習社)・家庭基礎 学習ノート(東京書籍)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの応用的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第7章 衣生活をつくる 第3章 子どもと共に育つ	・定期考査 ・実技試験	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・学習ノート ・実習レポート
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	第6章 食生活をつくる 第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える 第11章 これからの生活を創造する	・定期考査 ・実技試験	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・学習ノート ・実習レポート
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	第8章 住生活をつくる 第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む	・学習課題 ・実技試験	・学習課題 ・パフォーマンス課題	・学習ノート ・実習レポート
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる	2 5
		パフォーマンス課題1 ライフプランの作成①	
	5	第7章 衣生活をつくる	12
	6	実技試験1 裁縫の応用的技能	
	7	第3章 子どもと共に育つ 実習レポート1 保育体験	9
	◇.....1学期期末考査		
2 学期	8	第6章 食生活をつくる	17
	9	実技試験2 調理の応用的技能	
	10		
	11	第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える	5 3
		実習レポート2 介護体験	
	12	第11章 これからの生活を創造する パフォーマンス課題2 ライフプランの作成② 実習レポート3 家庭・地域への参画	2
	◇.....2学期期末考査		
3 学期	1	第8章 住生活をつくる 実技試験3 一人暮らしの平面計画	5
	2	第9章 経済生活を営む パフォーマンス課題3 一人暮らしの家計管理	8
	3	第10章 持続可能な生活を営む 学習課題 卒業記念作品の製作	2

5 その他

- 「家庭基礎 学習ノート」を除き、教科書・副教材は1年次の家庭基礎で使用したものを継続使用します。
- 年度当初に実習教材費を徴収し、年度末に決算報告を行います。
- 授業は、家庭科の特別教室(被服室・調理室)で行います。特別教室の使用については、特別教室に掲示してある注意事項を守ってください。
- 授業に関する連絡は Google classroom を通じて行うことがありますので、確認をしてください。
- 調理実習時にはエプロン・三角巾・マスク・手拭きタオル, 被服実習時には裁縫道具等, 実習時に必要なものは別途指示をします。
- ペア学習やグループ学習, 地域の方による講義や交流があります。相手を尊重し, 協力し, 思いやりをもって授業に参加しましょう。

令和 8 年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	家庭演習	単位数	2単位
		学年等	3年生体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生活を主体的に営むために必要な応用的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>家庭基礎 自立・共生・創造(東京書籍 家基 701)</p> <p>最新生活ハンドブック 資料&成分表&ICT(第一学習社)・家庭基礎 学習ノート(東京書籍)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの応用的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第7章 衣生活をつくる 第3章 子どもと共に育つ	・定期考査 ・実技試験	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・学習ノート ・実習レポート
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	第6章 食生活をつくる 第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える 第11章 これからの生活を創造する	・定期考査 ・実技試験	・定期考査 ・パフォーマンス課題	・学習ノート ・実習レポート
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	第8章 住生活をつくる 第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む	・学習課題 ・実技試験	・学習課題 ・パフォーマンス課題	・学習ノート ・実習レポート
	評価点	100点	100点	100点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる	2 5
		パフォーマンス課題1 ライフプランの作成①	
	5	第7章 衣生活をつくる	12
	6	実技試験1 裁縫の応用的技能	
	7	第3章 子どもと共に育つ 実習レポート1 保育体験	9
	◇.....1学期期末考査		
2 学期	8	第6章 食生活をつくる	17
	9	実技試験2 調理の応用的技能	
	10		
	11	第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える	5 3
		実習レポート2 介護体験	
	12	第11章 これからの生活を創造する パフォーマンス課題2 ライフプランの作成② 実習レポート3 家庭・地域への参画	2
	◇.....2学期期末考査		
3 学期	1	第8章 住生活をつくる 実技試験3 一人暮らしの平面計画	5
	2	第9章 経済生活を営む パフォーマンス課題3 一人暮らしの家計管理	8
	3	第10章 持続可能な生活を営む 学習課題 卒業記念作品の製作	2

5 その他

- 「家庭基礎 学習ノート」を除き、教科書・副教材は2年次の家庭基礎で使用したものを継続使用します。
- 年度当初に実習教材費を徴収し、年度末に決算報告を行います。
- 授業は、家庭科の特別教室(被服室・調理室)で行います。特別教室の使用については、特別教室に掲示してある注意事項を守ってください。
- 授業に関する連絡は Google classroom を通じて行うことがありますので、確認をしてください。
- 調理実習時にはエプロン・三角巾・マスク・手拭きタオル, 被服実習時には裁縫道具等, 実習時に必要なものは別途指示をします。
- ペア学習やグループ学習, 地域の方による講義や交流があります。相手を尊重し, 協力し, 思いやりをもって授業に参加しましょう。

令和8年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	情報 I	単位数	2単位
		学年等	1年生全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。
使用教科書副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 改訂版 情報 I (第一学習社) ・情報 I 学習ノート(第一学習社) ・ポイントでマスター 基礎からはじめる 情報リテラシーOffice2019 対応 ・ケーススタディ 情報モラル Advance ・30 時間でマスター ホームページビルダーVer.11/12/13 ・Excel でまなぶプログラミング

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	第 1 章 情報社会の問題解決 Word を用いた実習 Excel を用いた実習	定期考査	課題 実技テスト	ノート 課題プリント タイピング練習 行動観察
	評価点	100 点	100 点	100 点
2 学期	第 2 章 コミュニケーションと情報デザイン PowerPoint を用いた実習 第 3 章 コンピュータとプログラミング プログラミングを用いた実習	定期考査	課題 実技テスト	ノート 課題プリント タイピング練習 行動観察
	評価点	100 点	100 点	100 点
3 学期	第 4 章 情報通信ネットワークとデータの活用 ホームページビルダーを用いた実習	定期考査	課題 実技テスト	ノート 課題プリント タイピング練習 行動観察
	評価点	100 点	100 点	100 点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	第1章 情報社会の問題解決 パフォーマンス課題 Word を用いた実習	12
	5	第1節 情報の活用	
	6	第2節 個人の責任と情報モラル パフォーマンス課題 PowerPoint を用いた実習	12
	7	第3節 情報技術の役割と影響	
1学期期末考査			
2 学期	8	第2章 コミュニケーションと情報デザイン パフォーマンス課題 Excel を用いた実習	13
	9	第1節 コミュニケーション手段の特徴	
	10	第2節 情報デザイン	
	11	第3節 コミュニケーションと効果的なデザイン	15
	11	第3章 コンピュータとプログラミング パフォーマンス課題 プログラミングを用いた実習	
12	第1節 コンピュータのしくみと動き		
12	第2節 モデル化とシミュレーション		
12	第3節 プログラムと問題解決		
2学期期末考査			
3 学期	1	第4章 情報通信ネットワークとデータの活用	18
	2	第1節 情報通信ネットワークのしくみ パフォーマンス課題 ホーム°-ジビルダ°-を用いた実習	
	3	第2節 情報システムとデータ管理	
3	第3節 データの分析と活用		
学年末考査			

5 その他

--	--